FUJIFILM

GX645AF
Professional

準備編

基本編

応用編

MENU編

使用説明書 ご使用前に必ずお読みください。

202B10673331 J

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

- 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。
- 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。
- カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。
- フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。
- カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。
- 引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
- カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
- 電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
- 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。
- レンズを通して太陽や強い光源を見ないでください。失明の恐れがあります。

⚠注意

- カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
- 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
- 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- レンズを太陽光の当たる場所に放置しないでください。太陽光が集光した場合には高温になり、発火ややけどの原因になる恐れがあります。
- カメラを三脚に取り付けたまま持ち運ばないでください。けがをしたり、カメラを破損する恐れがあります。

目次

特長

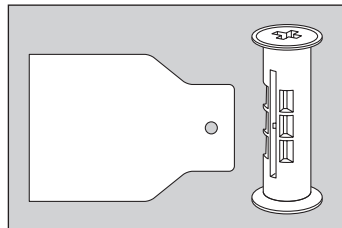
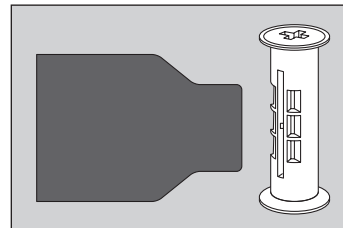
GX645AFは、高度な撮影技術に対応し、多彩な撮影機能、人間工学に基づき使いやすさを重視することで、プロカメラマンから写真愛好家の方々まで撮影に専念できるカメラとして開発いたしました。GX645AFを手にしたカメラマンの方々は、新しい創作意欲を必ず持たれることと信じます。

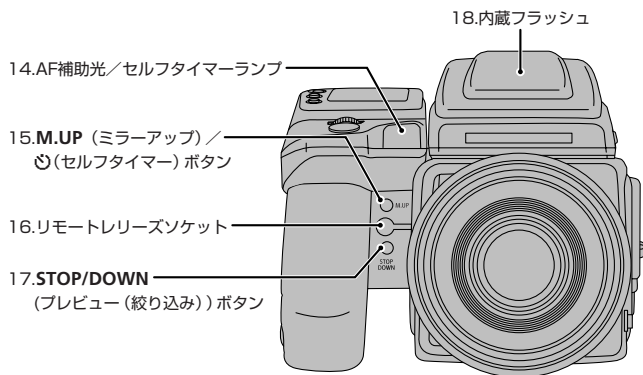
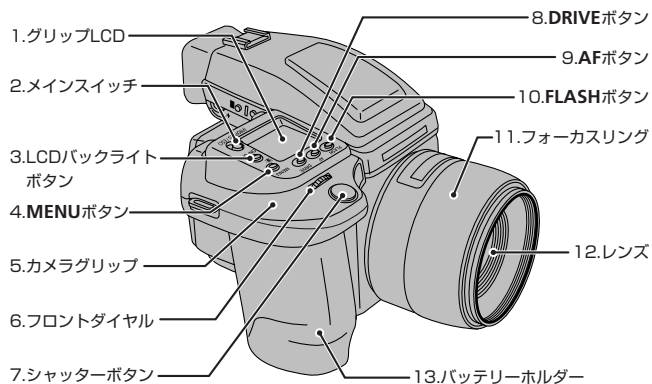
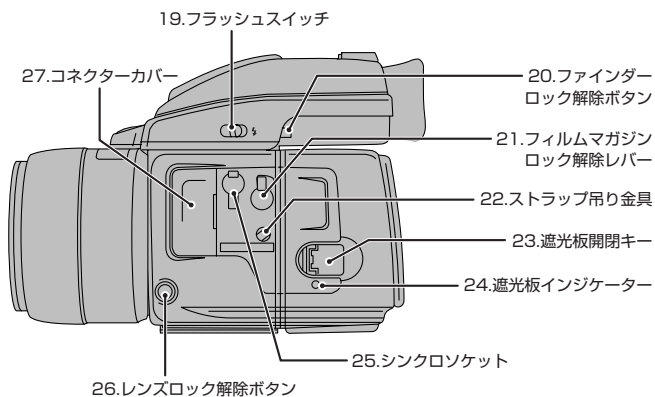
1. 小型化システム
   中判一眼レフシステムカメラとして、小型化、ホールディング性を向上させ、機動性、迅速性に優れています。外観にはステンレスを使用し堅牢な作りに、デザインは人間工学に基づいて洗練かつ使いやすい形になっています。
2. レンズシャッターの採用で、シンクロ全速同調
3. GX645AF用に開発された描写性に優れたスーパーEBCフジノンレンズ
4. 素早いオートフォーカス
   素早いオートフォーカスの達成で、シャッターチャンスを逃さない本格的なプロ仕様です。
5. レンズ鏡胴には、レディマニュアルフォーカス方式を採用
   フォーカスリングを約3° 回転させると、自動的にマニュアルフォーカスに切り替わります。AF測距後、微妙なピント調整が行えます。
6. 高速給送 2コマ／秒
   高速給送が可能で、シャッターチャンスを逃さないプロ仕様です。
7. 遮光板はフィルムマガジンに内蔵
   遮光板の紛失防止、迅速な開閉が可能です。
8. 120／220フィルム兼用のフィルムマガジン
   バーコードシステムに対応しており、フィルム感度、フィルム種類を自動識別し、設定を切り替えます。
   ・ 120／220フィルムを自動判別し、圧板位置を自動的に切り替え
     （バーコードシステム未対応のフィルムの場合、使用しているフィルムタイプを設定すると、圧板位置が自動的に切り替わります）
   ・ フィルム感度自動切り替え
   ・ リバーサル、ネガ、黒白フィルムごとにデータ写し込み濃度を自動設定
9. フラッシュメーター機能を装備
   多彩なライティングワークにも対応できます。
10. フラッシュ内蔵AEファインダー
    キャッチライトやスナップ撮影が手軽に行えます。
11. データプリント機能
    画面外に、撮影データ、日付・時間、任意の英数字などの記録が可能。撮影データの整理に便利です。
12. グリップLCD、ファインダーLCDにドットマトリックス表示を採用
    多彩な表示により、撮影者に分かりやすく情報を伝達します。
13. プログラムバリアブルAEモード搭載
    レンズの焦点距離に合わせてプログラムが変わる高度なプログラムで、最適なオート撮影が可能です。

■バーコードシステムについて BARCODE SYSTEM

富士フイルムのバーコードシステムは、フィルム感度、120／220フィルムの識別などの情報をリーダーペーパーとフィルムをつなぐシールの上に記録したバーコードをカメラが読み取って、自動設定するシステムです。バーコードシステム対応フィルム（Bマーク付き）を使用すると、フィルム感度、120／220フィルム切り替えなどの設定が不要で、簡単かつ確実に撮影が行えます。

■イージーローディングについて EASY LOADING EL

遮光紙をスプール溝に差し込むだけで、簡単・確実なフィルム装てんが可能な機構です。リーダーペーパーの先端の穴をスプール溝に設けたフックに引っ掛ける構造で、遮光紙のたるみやフィルムの巻き太りを抑え、装てんをより確実にします。

イージーローディングのフィルム　従来のフィルム

各部の名称

1. **グリップLCD**
   カメラの設定やモードの選択内容が表示されます。
2. **メインスイッチ**
   約1秒間押し続けると、電源のON／OFFができます。
   プロファイルの選択ボタン（**PROFILE**）、機能設定中の解除ボタン（**ESC**）としても使用します。
3. **LCDバックライトボタン**
   LCDのバックライトを点灯／消灯します。フィルムマガジンLCDとも連動しています。
4. **MENUボタン**
   機能の設定をします。
5. **カメラグリップ**
6. **フロントダイヤル**
   機能、数値の選択、表示に使用します。
7. **シャッターボタン**
8. **DRIVEボタン**
   フィルム給送モード（1コマ給送、連続給送、多重露光）を選択します。
   機能設定の**Enter**ボタンとしても使用します（次画面に移ります）。
9. **AFボタン**
   フォーカスモード（シングル、コンティニュアス、マニュアル）を選択します。
10. **FLASHボタン**
   ・フラッシュ応用機能（フラッシュ調光補正、シンクロタイミング（ノーマル、リア）、フラッシュメーター機能）を選択します。
   ・機能設定の**Exit**ボタンとしても使用します（前画面に戻ります）。
   ・約1秒間押し続けると、設定した機能がキーロックされます。
11. **フォーカスリング**
12. **レンズ**
13. **バッテリーホルダー**
14. **AF補助光／セルフタイマーランプ**
15. **M.UP（ミラーアップ）／⏲（セルフタイマー）ボタン**
   ミラーのアップ／ダウンをします。2回素早く押すと、セルフタイマーモードに入ります。
16. **リモートレリーズソケット**
   別売のリモートレリーズコード専用のソケットです。
17. **STOP／DOWN（プレビュー（絞り込み））ボタン**
   被写界深度の確認などに使用します。
18. **内蔵フラッシュ**

19. フラッシュスイッチ
内蔵フラッシュをポップアップします。

20. ファインダーロック解除ボタン

21. フィルムマガジンロック解除レバー

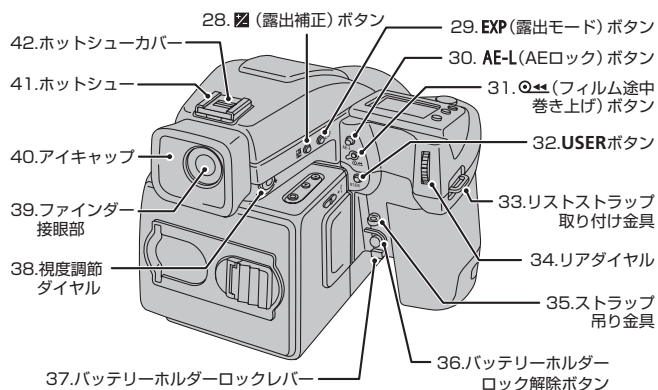
22. ストラップ吊り金具

23. 遮光板開閉キー

24. 遮光板インジケーター
白：遮光板が開いているとき、赤：遮光板が閉じているときを表します。

25. シンクロソケット

26. レンズロック解除ボタン

27. コネクターカバー
外部機器との通信時にカバーを外します。

28. ☒（露出補正）ボタン
露出補正の設定をします。

29. EXP（露出モード）ボタン
露出モード（プログラムバリアブルAE、プログラムAE、シャッター速度優先AE、絞り優先AE、マニュアル露出）、測光モード（中央部重点測光、スポット測光、平均測光）を選択します。

30. AE-L（AEロック）ボタン
AEロックの設定をします。

31. ⊙◂◂（フィルム途中巻き上げ）ボタン

32. USERボタン
よく使う機能をワンタッチで呼び出せます。

33. リストストラップ取り付け金具

34. リアダイヤル
機能や数値の選択、表示に使用します。

35. ストラップ吊り金具

36. バッテリーホルダーロック解除ボタン

37. バッテリーホルダーロックレバー

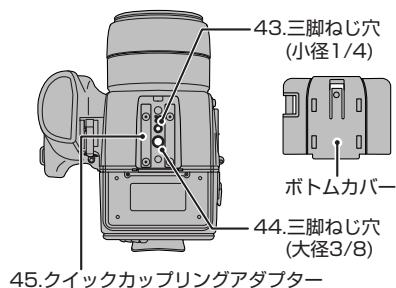
38. 視度調節ダイヤル

39. ファインダー接眼部

40. アイキャップ

41. ホットシュー

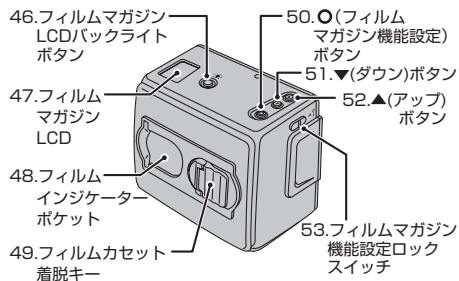
42. ホットシューカバー

各部の名称

●フィルムマガジン

●フィルムカセット

43. 三脚ねじ穴（小径1/4）

44. 三脚ねじ穴（大径3/8）
三脚に応じて使用するねじ穴を使い分けてください。

45. クイックカップリングアダプター

46. フィルムマガジンLCDバックライトボタン
フィルムマガジンLCDのバックライトを点灯／消灯します。

47. フィルムマガジンLCD
フィルムマガジンの設定を表示します。

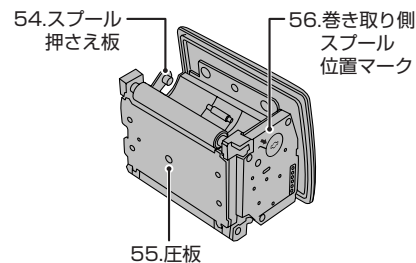
48. フィルムインジケーターポケット

49. フィルムカセット着脱キー

50. O（フィルムマガジン機能設定）ボタン
フィルムマガジンの機能設定を行います。

51. ▼（ダウン）ボタン

52. ▲（アップ）ボタン
フィルムマガジン機能設定の選択に使用します。

53. フィルムマガジン機能設定ロックスイッチ

54. スプール押さえ板

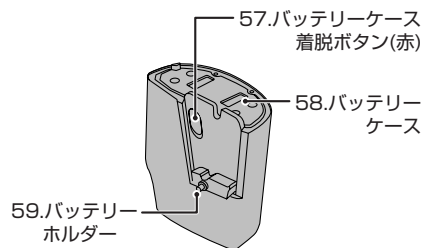
55. 圧板
120／220フィルムの圧板位置変更機能を内蔵しています。

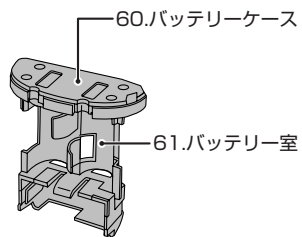
56. 巻き取り側スプール位置マーク
空（巻き取り側）スプールはこのマークのある方に装てんします。

●バッテリーホルダー

57.バッテリーケース
着脱ボタン(赤)

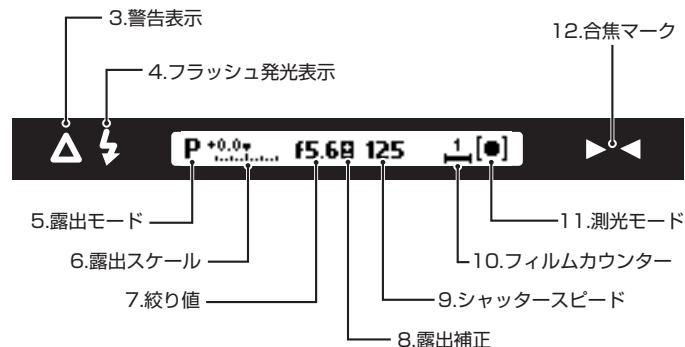
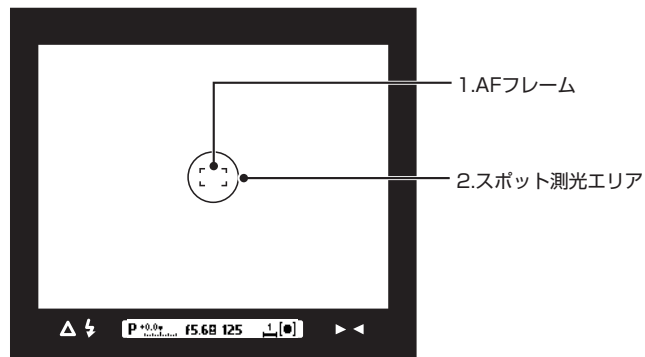
58.バッテリー
ケース

59.バッテリー
ホルダー

●バッテリーケース

57. バッテリーケース着脱ボタン（赤）
58. バッテリーケース
    リチウム電池（CR123A 3本）を入れます。
59. バッテリーホルダー

60. バッテリーケース
61. バッテリー室

各部の名称

●ファインダーLCD（例）

ドットマトリックス表示を採用することで、さまざまな表示を可能にしました。

1. AFフレーム
　AF（オートフォーカス）撮影時にはこのフレーム内でピントを合わせます。

2. **スポット測光エリア**
　スポット測光時の測光エリアを表します。

3. **警告表示**

4. **フラッシュ発光表示**
　フラッシュの充電が完了すると点灯します。

5. **露出モード**
　選択した露出モード（**Pv**、**P**、**S**、**A**、**M**）を表示します。

6. **露出スケール**
　設定した露出、露出補正値が適正露出に対してどのぐらい＋、－なのかをEV値とともに表示します。

7. **絞り値**
　設定した絞り値を表示します。**--**のときは露出制御範囲外です。

8. **露出補正**
　露出補正設定時に表示されます。

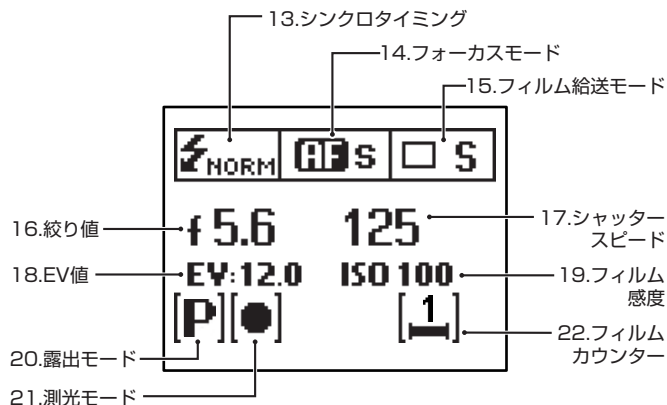
9. **シャッタースピード**
　設定したシャッタースピードを表示します。**--**のときは露出制御範囲外です。

10. **フィルムカウンター**

11. **測光モード**
　選択した測光モード（●、・、■）を表示します。

12. **合焦マーク**
　ピントが合っていると、両方とも点灯します。

●グリップLCD（撮影時）

●フィルムマガジンLCD

13. シンクロタイミング
選択したシンクロタイミング（**NORM**、**REAR**）やフラッシュ応用機能が表示されます。

14. フォーカスモード
選択したフォーカスモード（**AF S**、**AF C**、**MF**）が表示されます。

15. フィルム給送モード
選択したフィルム給送モード（□**S**、□**C**、**Multi**）を表示します。

16. 絞り値
設定した絞り値を表示します。**--**のときは露出制御範囲外です。

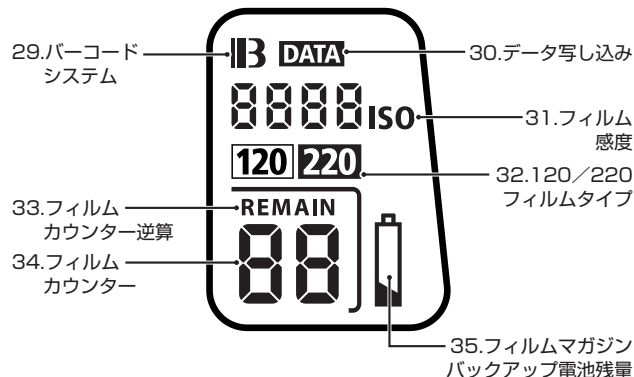
17. シャッタースピード
設定したシャッタースピードを表示します。**--**のときは露出制御範囲外です。

18. EV値
設定したEV値が表示されます。

19. フィルム感度
装てんしたフィルムのフィルム感度が表示されます。

20. 露出モード
選択した露出モード（**Pv**、**P**、**S**、**A**、**M**）を表示します。

21. 測光モード
選択した測光モード（●、・、■）を表示します。

22. フィルムカウンター

29. バーコードシステム
フィルムのバーコードシステムを利用して、フィルム枚数、フィルム感度などを設定する場合に表示されます。

30. データ写し込み
フィルムにデータを写し込む場合に表示されます。

31. フィルム感度
装てんしたフィルム感度（ISO）を表示します。

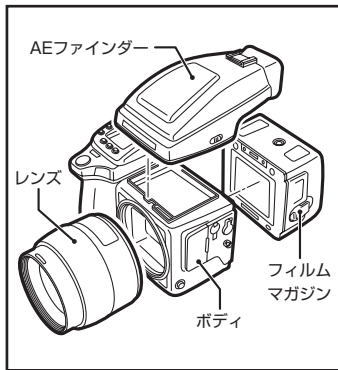
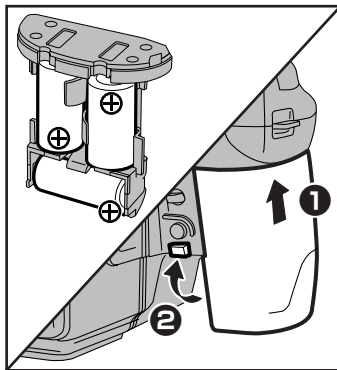
32. 120／220フィルムタイプ
装てんしたフィルムのフィルムタイプを表示します。

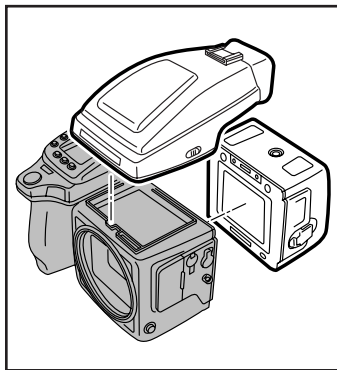
33. フィルムカウンター逆算
フィルムカウンターを逆算表示している場合に表示されます。

34. フィルムカウンター

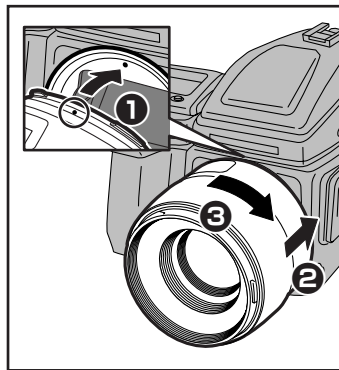
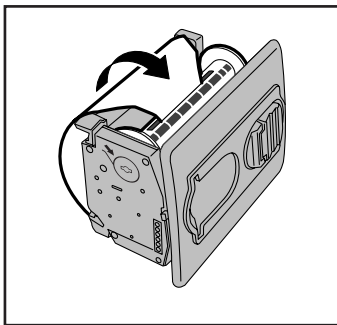
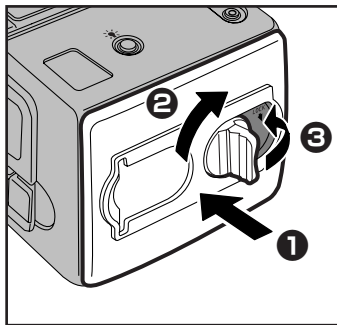
35. フィルムマガジンバックアップ電池残量
フィルムマガジン用電池の残量が少ないときに表示されます。

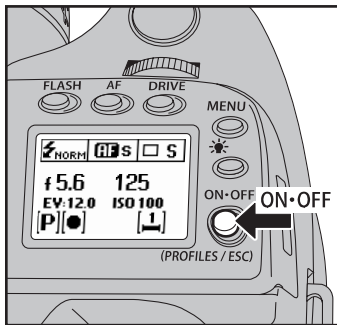
クイックガイド（すぐに撮影したい方のために）

1. ボディ、AEファインダー、フィルムマガジン、交換レンズを用意

2. バッテリーホルダーに電池を入れ、ボディに取り付ける

リチウム電池：CR123A 3本

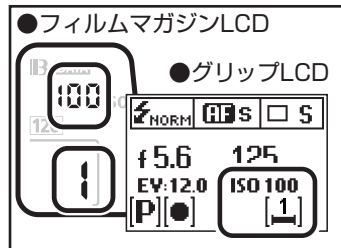
3. AEファインダー、フィルムマガジンをボディに取り付ける

4. 交換レンズをボディに取り付ける

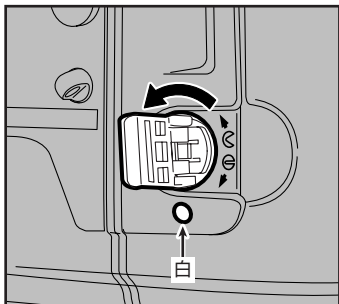
5. フィルムを装てん

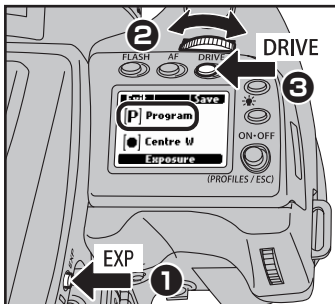
フィルムカセット着脱キーを回してフィルムカセットを取り出し、フィルムを装てんします。

6. フィルムカセットをフィルムマガジンに取り付ける

＊フィルムマガジンを取り付ける前にフィルムマガジン内の電池絶縁材と圧板保護シートを取り除いてください。

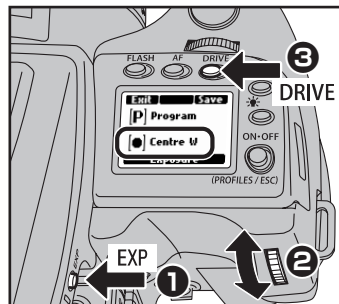
7. 電源を入れる

ON・OFFボタンを約1秒押し続けます。
☞グリップLCDが点灯し、フィルムが自動的に1コマにセットされます。

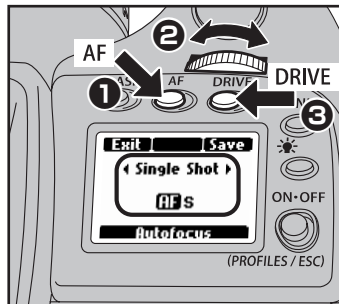
8. フィルム感度を確認

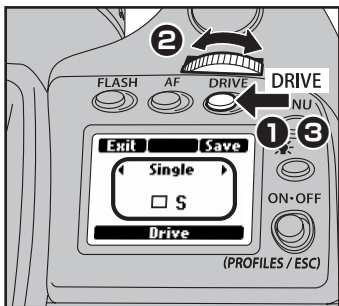
＊工場出荷時、ISO100、120に設定されています。

＊フィルムマガジンの初期設定は、ISO100、120になっています。バーコード検知による自動セット、フィルム感度などの設定方法は、フィルムマガジンの機能設定（→26ページ）をご参照ください。

9. 遮光板インジケーター：白を確認

遮光板開閉キーを止まるまで回し、遮光板インジケーターが白くなっていることを確認します。

10. 露出モードをセット（P/Program：プログラムAE）

❶**EXP**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回します。
❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

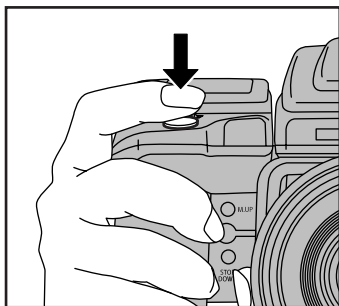
11. 測光モードをセット（●/Centre W：中央部重点測光）

❶**EXP**ボタンを押します。
❷リアダイヤルを回します。
❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

12. フォーカスモードをセット（AF S/Single Shot：シングルオートフォーカス）

❶**AF**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回します。
❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

13. フィルム給送モードをセット（□S/Single：1コマ給送）

❶**DRIVE**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回します。
❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

14. フレーミング

ファインダーをのぞき、構図を決めます。AFフレームに被写体を合わせます。

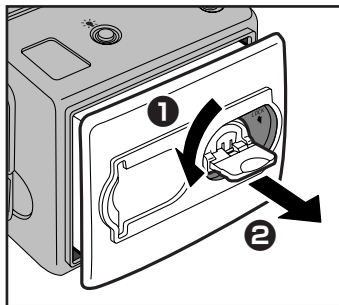
15. 撮影

シャッターボタンを半押しして、ファインダーLCDの▶◀が点灯すれば、測距完了です。シャッターボタンを深く押してください。撮影が開始されます。

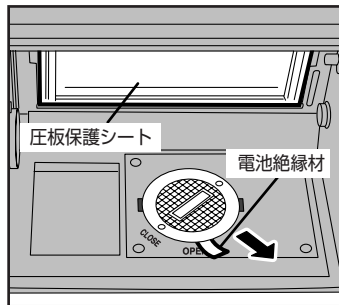
これであなたはGX645AFを簡単に使用できます。詳細な使用説明、取扱方法は、この後の使用説明をしっかり読んでください。

フィルムマガジンについて/フィルムカセットの取り出し・取り付け

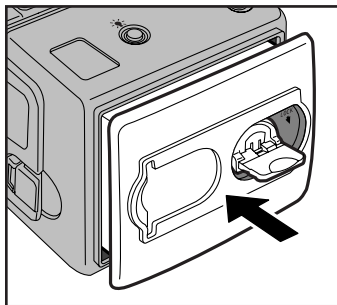
フィルムマガジンにはコイン電池CR2032があらかじめ装てんされ、電池の消耗を防止するため、絶縁材が入っています。購入後、まず最初にフィルムマガジン内の絶縁材を取り除いてください。また、圧板保護のために薄いシートが入ってますので、使用前に取り除いてください。

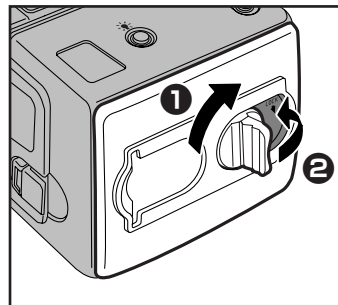
フィルムカセットの取り出し

1. フィルムカセットを取り出す

❶フィルムカセット着脱キーを起こし、反時計回りに回転させます。
❷フィルムカセットを引き出します。

2. 電池絶縁材と圧板保護シートを取り除く

フィルムマガジンの内部下側の電池絶縁材を引き抜きます。
圧板保護シートも取り除いてください。

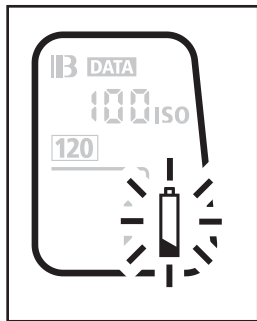
フィルムカセットの取り付け

1. フィルムカセットをフィルムマガジンに入れる

フィルムカセットをフィルムマガジンにまっすぐ入れます。奥まで強く､しっかり押し込んでください。

2. フィルムカセットをロック

❶フィルムカセット着脱キーを起こし、押しながら時計回りに止まるまで回します。
❷フィルムカセット着脱キーを倒します。
☞フィルムカセットにロックが掛かり、フィルムカセットの取り付け完了です。

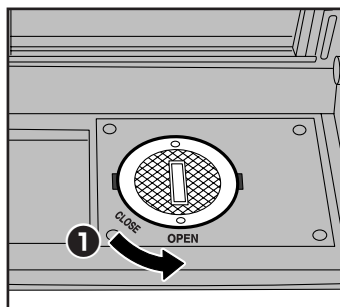
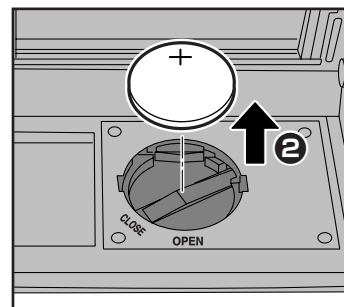
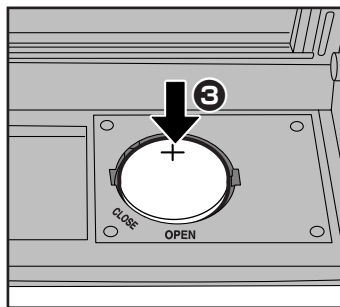
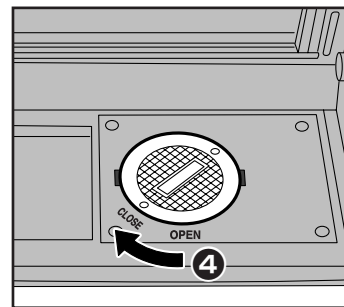
＊フィルムマガジンの電池は、フィルムカセット単体での機能の設定、バックライト点灯、メモリーの保持に使用しています。

フィルムマガジンとフィルムカセットの間に隙間が空いている場合は、フィルムカセットがしっかり入っていません。一度フィルムカセットを取り出し、再度取り付けてください。

●フィルムマガジンの電池容量

電池容量が少なくなると、フィルムマガジンバックアップ電池残量マークが点灯します。新しい電池に交換してください。

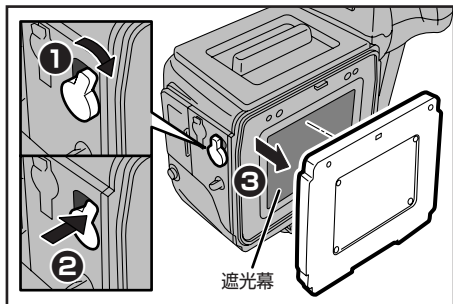
＊電池容量が十分なときは点灯しません。

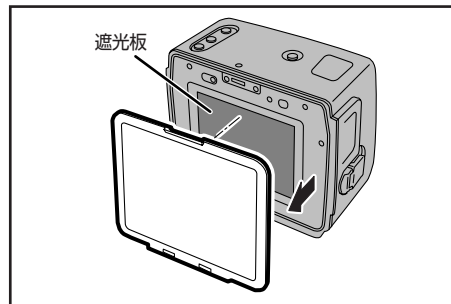
- フィルムマガジンがボディに取り付けられているときはボディから電源が供給され、フィルムマガジン内蔵の電池は使用されません。
- フィルムマガジン単体で保管するときは、フィルムマガジン内蔵電池が消耗します。電池の寿命は約1年です。

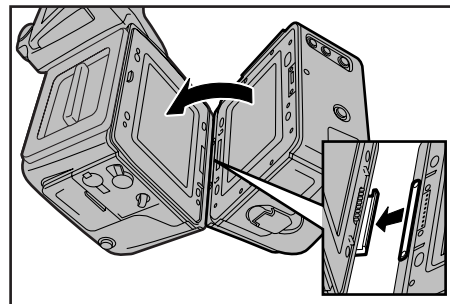
フィルムマガジンの内蔵電池の交換方法

電池ぶたをコインなどで**OPEN**の位置まで回し、電池ぶたを取り外します。

電池を取り出します。

新しい電池(CR2032)を入れます。

電池ぶたを取り付け、**CLOSE**の位置まで回します。

フィルムマガジン

フィルムマガジンの取り付け

1. ボディのバックカバーを外す

❶フィルムマガジンロック解除レバーを時計回りに回し、
❷フィルムマガジンロック解除レバーを押し、
❸ボディのバックカバーを外します。

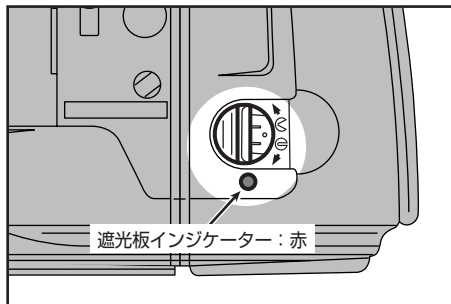
2. フィルムマガジンのカバーを外す

フィルムマガジンのカバーを外します。

3. フィルムマガジンをボディに取り付ける

ボディ下側の凸部にフィルムマガジンの凹部を入れ、下側に押し付けながらロックされるまでフィルムマガジンを押し込みます。

遮光幕はフィルムの光カブリを防止する重要な部分ですので、絶対に指などで触らないでください。

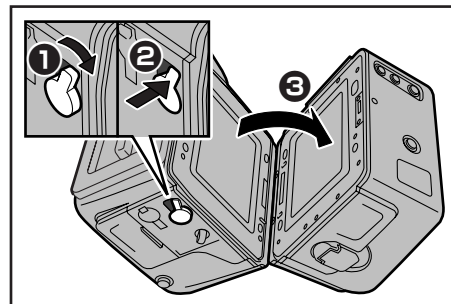
遮光板は薄い板ですので、指や物で突っついたり、触ったりしないでください。変形して遮光板の作動が悪くなったり、光カブリの原因となります。

フィルムマガジンの取り外し

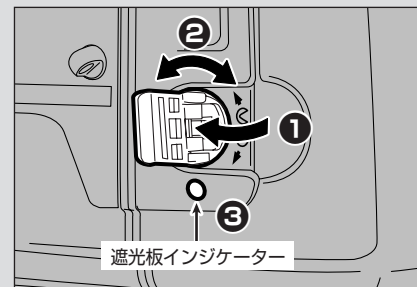
1. 遮光板インジケーター：赤を確認

遮光板開閉キーを起こし、⊖方向に止まるまで回し、遮光板インジケーターが赤になっていることを確認します。

2. フィルムマガジンを外す

❶フィルムマガジンロック解除レバーを時計回りに回し、
❷フィルムマガジンロック解除レバーを押し、
❸フィルムマガジンを外します。

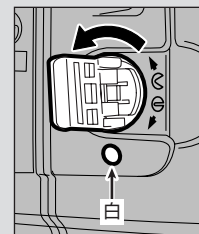
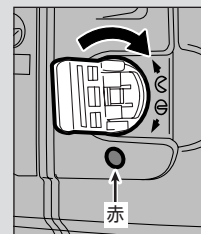
＊遮光板インジケーターが白になっているとき、遮光板開閉キーを止まるまで回し切っていないときは、フィルムマガジンを取り外すことはできません。

＊フィルムマガジンを外して保管するときは、フィルムマガジンおよびボディにカバーを取り付けてください。

遮光板の開閉

遮光板はフィルムマガジンに内蔵されていますので、迅速かつ容易に開閉できます。

遮光板の開閉は、
❶遮光板開閉キーを起こします。
❷表示に従って、止まるまで回します。
❸遮光板インジケーターの色を確認します。

遮光板が開いている: 遮光板インジケーターは白

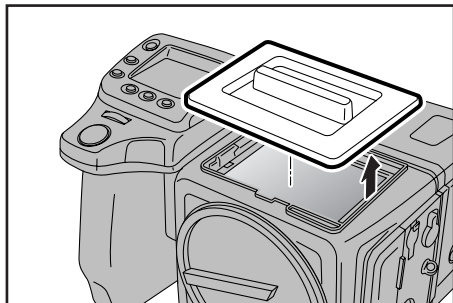
反時計回りに回します。

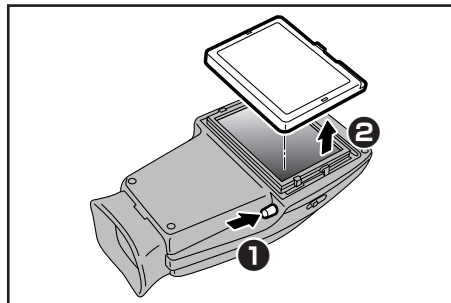
⊖ 遮光板が閉じている: 遮光板インジケーターは赤

時計回りに回します。

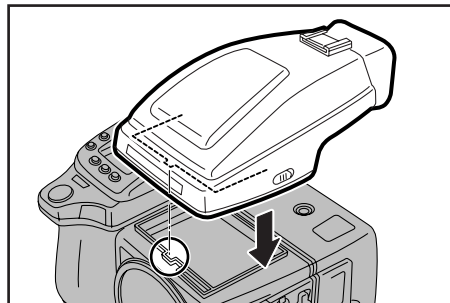
＊フィルムマガジン単体のときは遮光板を開閉できません。

AEファインダー

AEファインダーの取り付け

1. ボディの上カバーを外す

ボディの上カバーをつまみ、引っ張って外します。

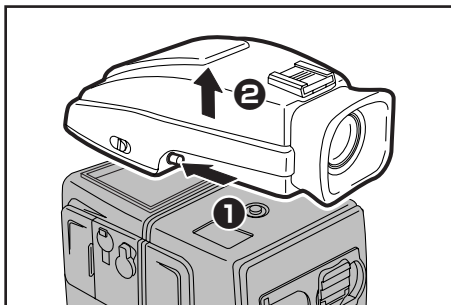
2. AEファインダーのカバーを外す

❶ファインダーロック解除ボタンを押して、
❷AEファインダーのカバーを外します。

3. AEファインダーをボディに取り付ける

ボディの凹部とAEファインダーの凸部が合うように、まっすぐ上からしっかり押し込み、ロックします。

レンズが露出しますので、触ったりぶつけたりしないようにご注意ください。汚れたり傷が付いたりすると、ファインダーの見えやAE測光に影響が出ます。

＊AEファインダーがロックされていないと、電源を入れてもファインダーLCDが表示されません。

AEファインダーの取り外し

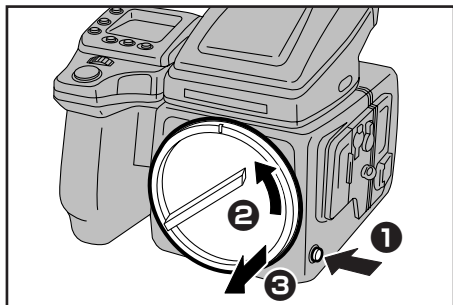
1. ファインダーロック解除ボタンを押しながら、ファインダーを外す

❶ファインダーロック解除ボタンを押しながら、

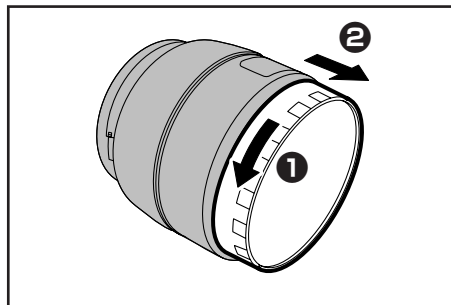
❷AEファインダーをまっすぐ上に持ち上げます。

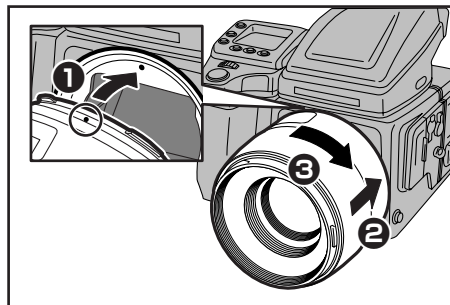
AEファインダーを外して保管するときは、傷、ごみ、ほこりを防止するため、必ずAEファインダーおよびボディにカバーを取り付けてください。

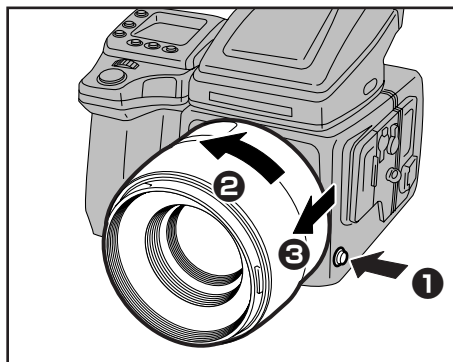
交換レンズ

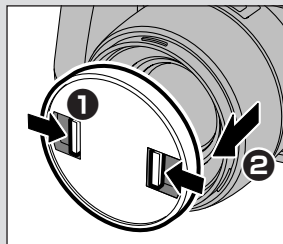
交換レンズの取り付け

1. ボディのフロントキャップを外す

❶レンズロック解除ボタンを押しながら、
❷ボディのフロントキャップを反時計回りに回し、
❸フロントキャップを外します。

2. 交換レンズのリアキャップを外す

交換レンズのリアキャップを反時計回りに回して外します。

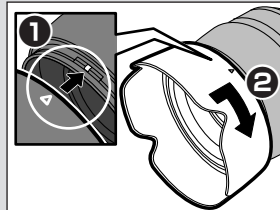
3. 交換レンズをボディに取り付ける

❶交換レンズ側の赤い指標とボディ側の赤い指標を合わせて、
❷交換レンズをまっすぐはめ込みます。
❸カチッと音がするまで時計回りに回し、交換レンズを取り付けます。

交換レンズの取り外し

❶レンズロック解除ボタンを押しながら、
❷交換レンズを反時計回りに回します。
❸レンズを前方に外します。

レンズキャップの着脱

レンズキャップ正面の2カ所のつまみを内側に押しながら、レンズ先端のねじ部に取り付けたり、取り外したりします。

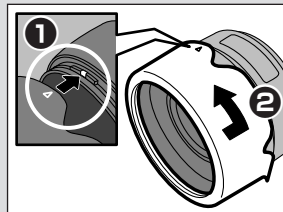
レンズへの傷、ごみ、ほこりなどの付着防止のため、撮影しないときは必ずレンズにレンズキャップを取り付けてください。
レンズが汚れているときは、81ページを参照して、レンズをきれいにふいてください。

レンズフードの着脱（別売）

●取り付け

❶レンズ先端部の指標とレンズフードの指標を合わせます。
❷レンズフードをレンズの先端に押しながら、時計回りに止まるまで回して取り付けます。
☞レンズフードにロックが掛かります。

●取り外し

レンズフードをレンズ側に押しながら、反時計回りに止まるまで回し、手前に引き出します。

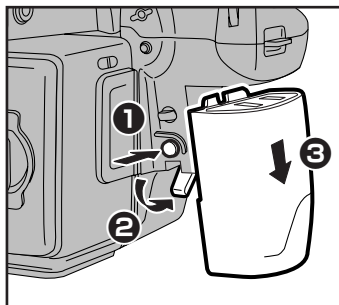
- レンズフードを着脱するときは、レンズフードをレンズ側に押し付けて回してください。押し付けずに回すと、破損する恐れがあります。
- フレアーやゴーストの発生を防止するため、レンズフードを取り付けることをおすすめします。
- レンズフードをしっかり止まる位置まで回さないと、レンズによる光線ケラレが発生します。

●レンズフードの収納

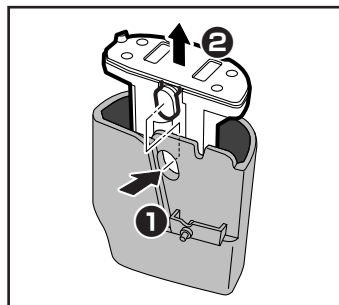
レンズフードを取り外した後、レンズフードを逆さまにレンズに取り付け、収納できます。
❶レンズフードを逆さまにして、レンズ先端部の指標とレンズフードの指標を合わせ、レンズにかぶせます。
❷反時計方向に回します。

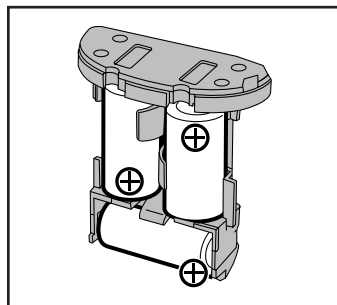
取り外すときは、レンズフードを押し付けながら時計回りに止まるまで回してください。

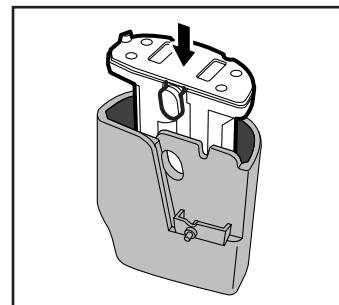
カメラボディの電池を入れる

●使用する電池：リチウム電池　CR123A 3V 3本

1. バッテリーホルダーを外す

❶バッテリーホルダーロック解除ボタンを押しながら、
❷バッテリーホルダーロックレバーを下方向に下げ、
❸バッテリーホルダーをボディから外します。

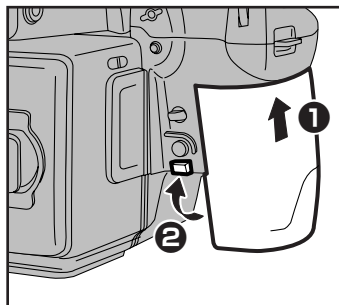
2. バッテリーケースを取り出す

❶バッテリーケース着脱ボタン（赤）を押して、
❷バッテリーケースを取り出します。

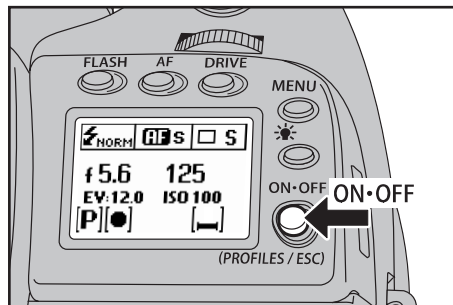
3. 電池を入れる

バッテリーケースの⊕表示に従って、電池を入れます。

4. バッテリーケースをバッテリーホルダーに入れる

バッテリーケースをバッテリーホルダーにカチッと音がするまでしっかり入れます。

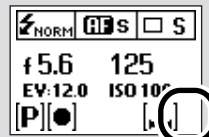
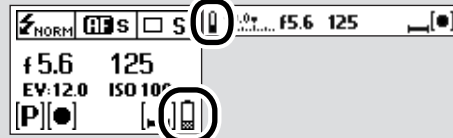
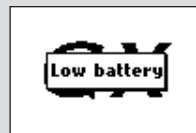
電池交換時には必ず3本とも新品電池を使用してください。新旧電池の混合使用は避けてください。

電源を入れる

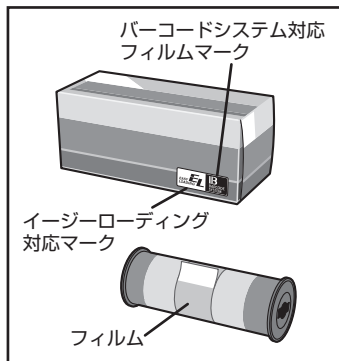
5. バッテリーホルダーを取り付ける

❶バッテリーホルダーをボディに押し付けながら、
❷バッテリーホルダーロックレバーを元の位置に上げてロックし取り付けます。

メインスイッチを押す

ON・OFFボタンを約1秒間押し続けます。

電池容量の確認（LCD表示）

❶電池容量が十分なときは点灯しません。

❷電池容量が少なくなると、LCD内の "▯" が点灯します。

❸電池容量がなくなると、"**Low battery**" が表示され、カメラが作動しません。新しい電池に交換してください。

＊ファインダーLCDには何も表示されません。

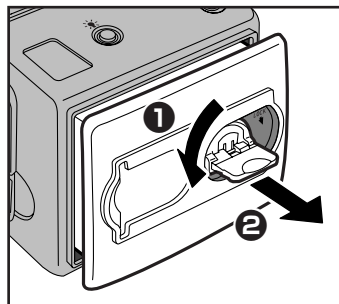
＊電源を入れたまま約15秒間放置すると、グリップLCDに "*GX*" が表示され、節電モードに入ります。シャッターボタンを半押し、または**ON・OFF**ボタンを押すと、撮影モード画面に復帰します。なお、節電モードまでの時間は、カスタム設定の**1.Standby timeout**(→72ページ)で変更可能です。
＊節電モードは、カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます(→75ページ)。

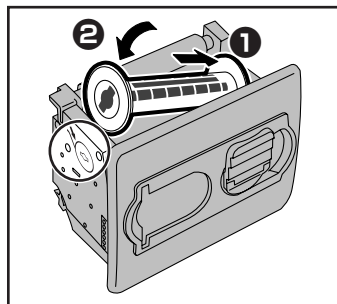
スプールとフィルムの装てん

このフィルムマガジンは、バーコードシステムに対応しています。フィルムマガジン機能設定を"ⅡB"に合わせてください(→26ページ)。

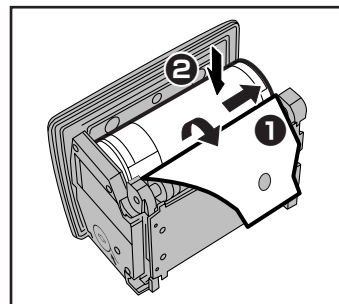
バーコードシステム対応フィルム（ⅡBマーク付き）を使用すると、バーコードによってフィルム感度、120／220フィルムなどを判別し、自動的にフィルムカウンター、圧板位置が切り替わります。
フィルムカセットは120フィルム、220フィルムの圧板位置変更機能を内蔵していますので、120／220フィルム兼用で使用できます。

●撮影枚数

フィルムタイプ	撮影枚数
120 1/2フィルム	8枚
120フィルム	16枚
220フィルム	32枚

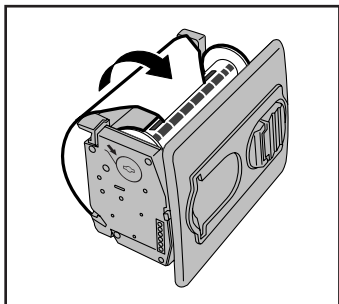
1. フィルムカセットを取り出す

フィルムカセットを取り出します(→14ページ)。

2. 空スプールを装てん

フィルムカセットの白いマークのある方(巻き取り側)に空スプールを装てんします。

3. フィルムを装てん

反対側にフィルムを装てんします。

＊空スプール、フィルムとも、スプール押さえ板側にスプールを押し付けながらフィルムカセット内に納めてください。

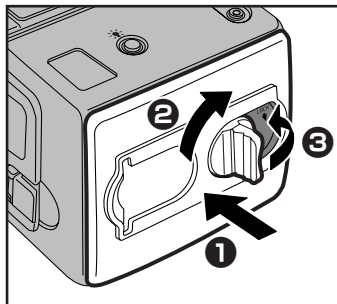
- スプール押さえ板がきちんと戻っていることを確認してください。スプール押さえ板が正しい位置に戻っていないと、フィルムカセットがフィルムマガジンに入れられなかったり、また無理に入れると、フィルムマガジンに傷を付けたり、フィルムの給送にトラブルが発生します。
- 空スプールは、工場出荷時、巻き取り側にセットされています。

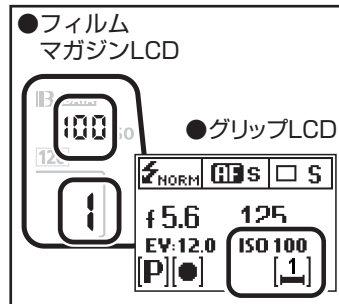
4. リーダーペーパーの先端を巻き取り側スプールの溝に差し込む

リーダーペーパーの先端を巻き取り側スプールの溝に差し込みます。

☞リーダーペーパーの先端の穴がスプールの溝内の突起部に引っ掛かります。

5. フィルムの予備巻き

フィルム供給側にフィルムのスタートマークが表れるぐらいまで、リーダーペーパーを巻き取り側スプールに巻き込みます。

6. フィルムカセットをフィルムマガジンに入れる

フィルムカセットをフィルムマガジンに取り付けます（→14ページ）。

7. 1コマ目にセット

カメラに電源が入っているとき、フィルムマガジンにフィルムの入ったフィルムカセットを入れると、自動的に1コマ目がセットされます。

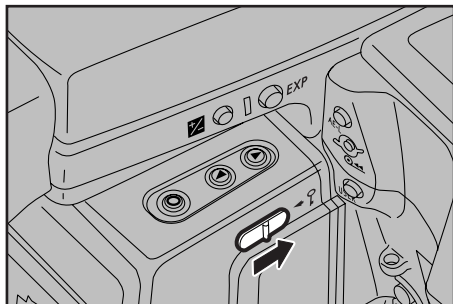
＊カスタム設定の**15.Film wind-on**（→73ページ）で、シャッターボタンを半押ししてフィルムの給送が開始されるように設定できます。

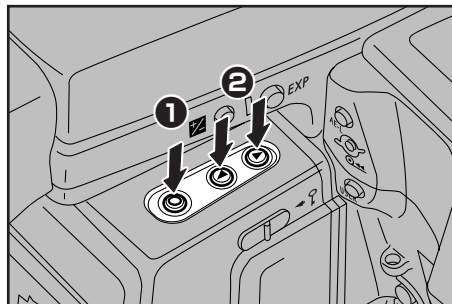
＊イージーローディングフィルム、スプールではないタイプをご使用の場合も、同様にリーダーペーパーの先端をスプールの穴に差し込みます。
＊本機は、フィルムマガジン内のセンサーによって、リーダーペーパーとフィルム、およびバーコードを検知しています。そのため、フィルムのスタートマークを厳密に合わせせなくても、正確に1コマ目にセットされます。
＊220フィルムは、リーダーペーパーの先端からスタートマークまでの間が長いため、リーダーペーパーの先端をスプールに巻き込んだとき、フィルムのスタートマークが見えなくても構いません。巻き取り側スプールに3巻～4巻きしてください。

＊スタートマークが見えた後、さらに予備巻きをすると、光カブリの原因となります。
＊巻き太り防止のため、フィルム供給側のリーダーペーパーを押さえてテンションを掛けながら、リーダーペーパーを巻き取り側スプールに強くしっかり巻き締めてください。

フィルムマガジン機能設定を“IB”にセットし、バーコードシステムに対応していないフィルムを装てんすると、グリップLCDに“**Undefinded film speed**（フィルム感度が設定できません）”と表示され、シャッターロックが掛かります。フィルム感度をマニュアルで設定してください（→26ページ）。

フィルムマガジンの機能設定（フィルム感度（ISO）設定など）

1. フィルムマガジン機能設定のロックを解除

フィルムマガジン機能設定ロックスイッチを動かし、ロックを解除します。

2. 設定

❶ ◯ボタンを押すごとに設定項目が切り替わります。

❷ ▲▼ボタンで設定を変更します。

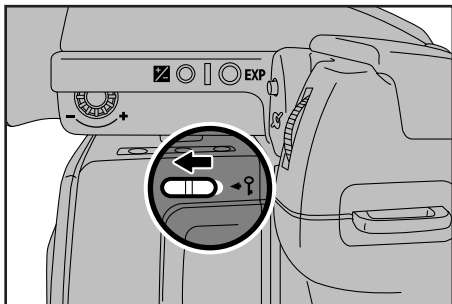
●フィルムマガジンの設定内容

設定項目	▲▼ボタンで切り替え	内容
DATA	on	データ写し込み：あり
DATA	off	データ写し込み：なし
REMAIN	on	フィルムカウンター：逆算表示
REMAIN	off	フィルムカウンター：順算表示
ISO	ⅡB	バーコード検知による自動設定
ISO	6〜6400	マニュアルでのフィルム感度設定
120 220	8fr 120	120 1/2フィルムに設定
120 220	16fr 120	120フィルムに設定
120 220	32fr 220	220フィルムに設定

＊データ写し込み内容は、69ページを参照してください。

＊“ⅡB”設定時は、誤使用防止のため“120/220”は切り替えられません。

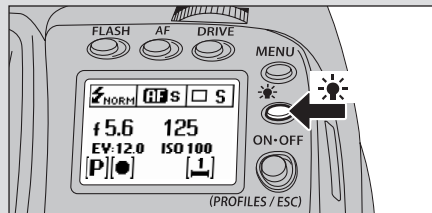
＊バーコードシステム対応フィルムを装てんした場合、“ⅡB”に設定していなくても120/220フィルムタイプが自動的に切り替わります。ただしフィルム感度設定は自動的に切り替わりません。

3. フィルムマガジン機能設定をロック

❶ ○ボタンを押して、設定内容を登録します。
❷ フィルムマガジン機能設定ロックスイッチを動かし、ロックします。

フィルムマガジンLCDのバックライト

フィルムマガジン単体で薄暗いところなどでフィルムマガジンLCDが見にくいときには、☀フィルムマガジンLCDバックライトボタンを押してください。

☞☀ボタンを押している間、バックライトが点灯します。

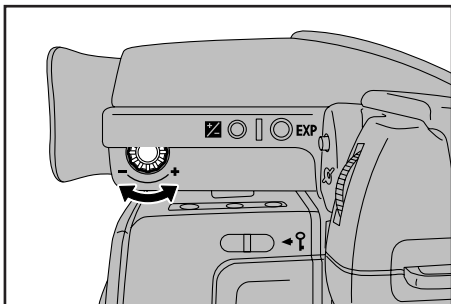
●フィルムマガジンをボディに取り付けているとき

フィルムマガジンをボディに取り付けているときは、グリップの☀LCDバックライトボタンを押すと、グリップLCDとフィルムマガジンLCDの両方のバックライトが点灯します。

＊☀フィルムマガジンLCDバックライトボタンは使用できません。

- 設定変更後5秒間操作しないと、フィルムマガジンLCDは通常画面に戻ります。このとき、表示されている内容が登録されます。
- 設定が終わったら、不用意に設定が変わらないようにフィルムマガジン機能設定をロックしてください。

＊装てんしたフィルムとフィルムタイプ（120/220など）が違っていると、ピントが悪くなったり、途中でフィルムが巻き上げられたり、最終コマの画面切れが起こります。撮影前にはフィルムとフィルムマガジンの設定内容を確認してください。

視度調節

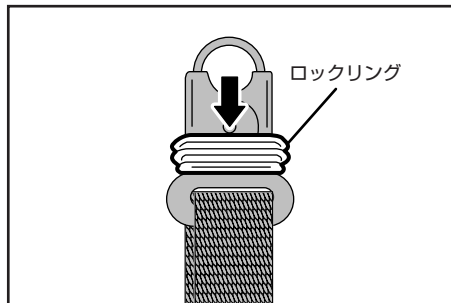
視度調節ダイヤルを回す

カメラを明るい方に向け、ファインダーをのぞき、AFフレームがはっきり見えるように視度調節ダイヤルを回します。

● **視度補正範囲：**
−4.0D〜＋2.5D（ディオプター）

＊遠視の方は＋側（反時計回り）に、近視の方は−側（時計回り）に回して調節してください。

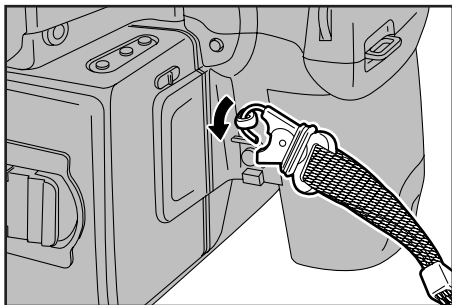
● ファインダーでピント合わせをする前に、必ずファインダーの視度を調節してください。
● 視度を決めるときは、ファインダー像で合わせないでください。

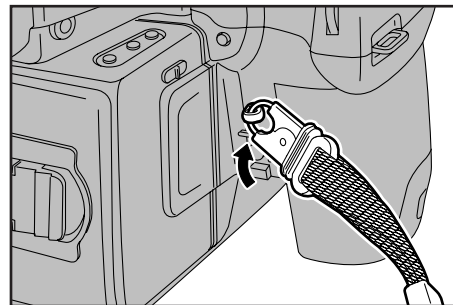
ネックストラップの取り付け

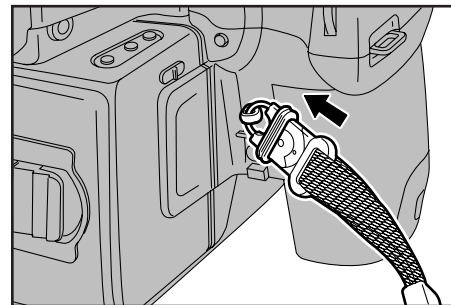
1. ロックリングを下げる

ストラップのロックリングを下げます。

2. フックカバーを広げる

フックカバーを広げます。

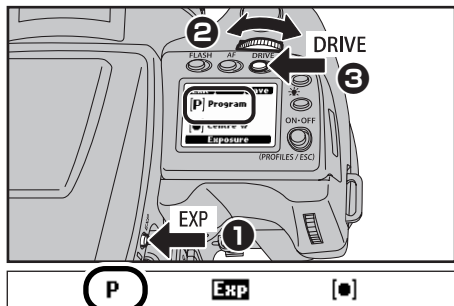
3. ストラップ吊り金具に取り付ける

ストラップのフックをボディのストラップ吊り金具に取り付けます。

4. フックカバーを閉める

フックカバーを元の位置に戻し、閉めます。

5. ロックリングを上げる

ロックリングをフック側に止まるまで動かし、ロックします。
カメラの反対側も同様に取り付けてください。

＊必ずロックリングをフック側に動かしてロックしてください。ストラップのフックが外れ、カメラが落下する恐れがあります。

オート撮影（オートフォーカス／プログラムAE）

1. P：プログラムAEに設定

P	Exp	[●]

❶**EXP**ボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回し、**P**：**Program**を表示させせます。

☞露出モード設定中、ファインダーLCDに“Exp”と表示されます。

❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDとファインダーLCDに“**P**”が表示されます。

2. ●：中央部重点測光に設定

P	Exp	[●]

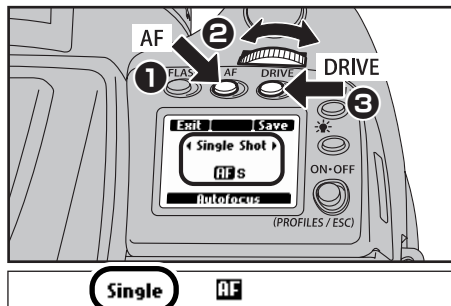
❶**EXP**ボタンを押します。

❷リアダイヤルを回し、●：**Centre W**を表示させせます。

☞測光モード設定中、ファインダーLCDに“Exp”と表示されます。

❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDとファインダーLCDに“●”が表示されます。

3. AF S：シングルオートフォーカスモードに設定

Single	AF

❶**AF**ボタンを押します。

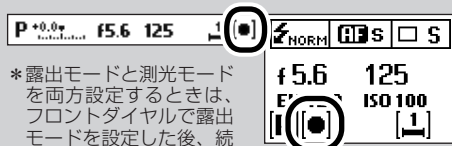
❷フロントダイヤルを回し、**AF S**：**Single Shot**を表示させせます。

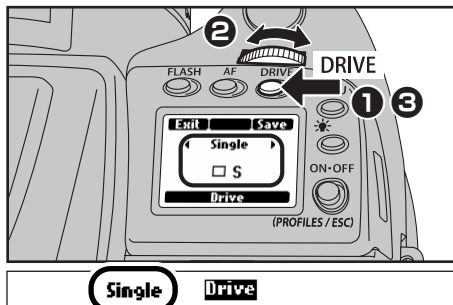
☞フォーカスモード設定中、ファインダーLCDに“AF”と表示されます。

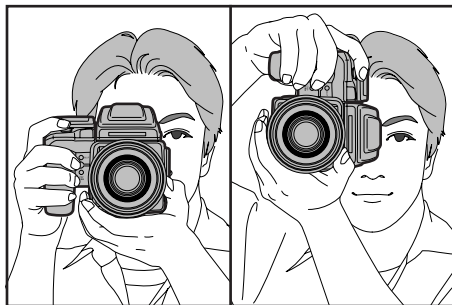
❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDに“**AF S**”と表示されます。

＊***1.***〜***4.***のモードは、シャッターボタン半押しでも登録できます。

＜登録後の表示＞

＊露出モードと測光モードを両方設定するときは、フロントダイヤルで露出モードを設定した後、続けてリアダイヤルを回して測光モードを設定してください。

4. □S：1コマ給送モードに設定

❶DRIVEボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、□S：Single を表示させます。
☞フィルム給送モード設定中、ファインダーLCDに"Drive"と表示されます。
❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。
☞グリップLCDに"□S"と表示されます。

5. カメラを構える

カメラブレはシャープネスを劣化させる最も大きな原因です。

両脇をしっかり締めてカメラを固定します。

シャッタースピードが遅いとき、焦点距離の長いレンズで撮影するときは、カメラブレを起こしやすいので、三脚などをご使用ください。

6. 被写体をねらう

AFフレームの内側（[ ]AF測距範囲）で被写体をねらいます。

＊ねらう被写体がフォーカスフレームから外れているときは、フォーカスロック撮影（→45ページ）を行ってください。

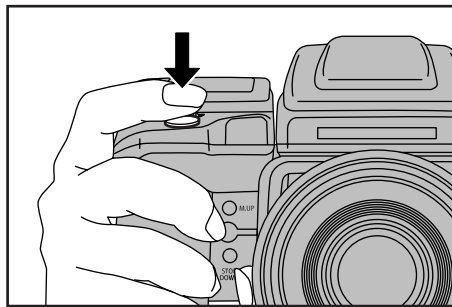
基本編

7. ピントの確認

シャッターボタンを半押しし、ファインダーLCDの合焦マークが2つとも点灯していれば測距完了です。

8. 露出の確認

ファインダーLCDまたはグリップLCDに絞り値とシャッタースピードが表示されていればOKです。

9. シャッターを切る

シャッターボタンを静かに深く押すと、シャッターが切れます。

AF S：シングルオートフォーカスモード時、測距不能の場合、▶◀が2つとも点滅し、シャッターロックが掛かります。

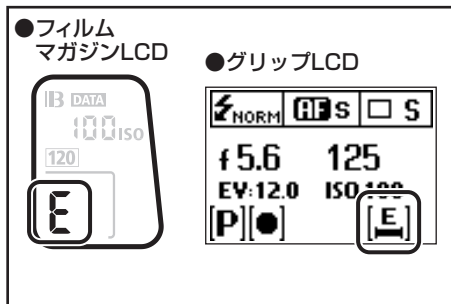
＊合焦マークが2つとも点灯しないとき、被写体にピントが合わないときは、マニュアルフォーカス撮影（→43ページ）、フォーカスロック撮影（→45ページ）を行ってください。

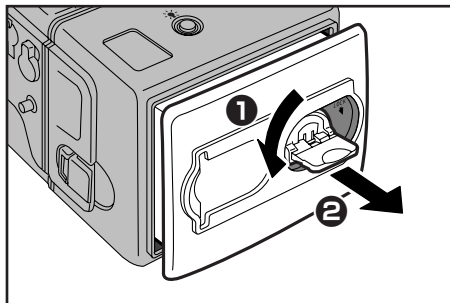
＊絞り値、シャッタースピード表示部に“**---**”と表示された場合は、露出連動範囲外です。このとき、ファインダーLCDの露出スケールに適正露出からどのぐらい外れているか（EV）が表示されます。露出連動範囲外でもシャッターは切れます。なお、カスタム設定の**8.Out of range exposure lock**（→72ページ）で、露出制御範囲外の場合、シャッターロックが掛かるように設定できます。

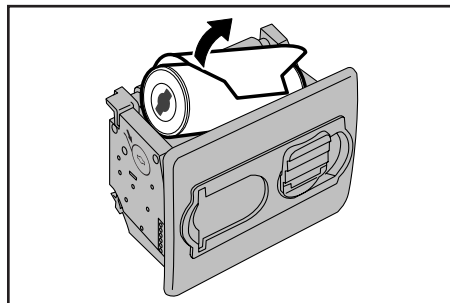
f-- ----

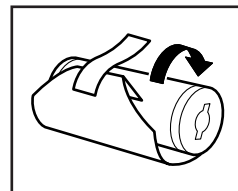
＊シャッターボタンを半押ししても露出はロックされません。シャッターボタンを深く押し込んだときの露出で撮影されます。

最終コマの撮影とフィルムの取り出し

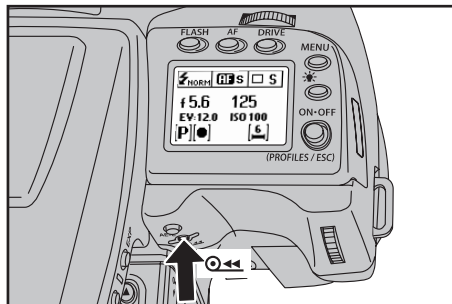
1. 自動的にフィルムが巻き上がる

最終コマ撮影後、自動的にフィルムは最後まで巻き上がり、フィルムカウンターに“**E**”が表示されます。

2. フィルムカセットを取り出す

フィルムカウンターに“**E**”が表示されたことを確認してから、フィルムカセットを取り出します（→14ページ）。

3. フィルムを取り出す

フィルムカセットからフィルムを取り出します。

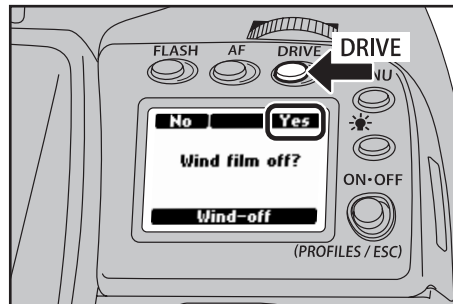
取り出したフィルムは、巻きゆるみがないようにエンドシールをしっかりはりつけます。

＊フィルムの最終コマまで撮影し終わり、フィルムカウンターが“**E**”のときにシャッターボタンを押すと、ファインダーLCDに“**No more frames**（フィルムが残っていません）”、グリップLCDに“**No more frames on the film**（フィルムに撮影できるコマは残っていません）”と表示され、シャッターは切れません。

撮影途中のフィルムが入っているときにフィルムカセットを取り出そうとすると、“**Film magazine open**（フィルムマガジンが開きました）”と表示されます。フィルムがカブり、使用できませんので、⊙◂◂ボタンを押してフィルムを巻き上げ、取り出してください。

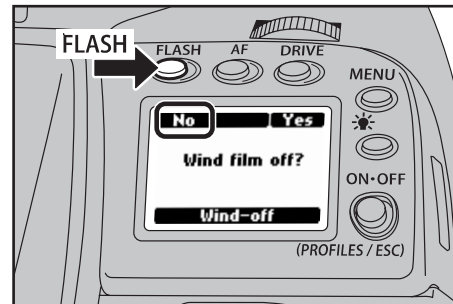
基本編

フィルムの途中取り出し

1. ⊙◂◂ボタンを押す

⊙◂◂ボタンを押します。

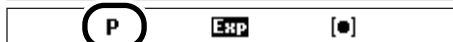
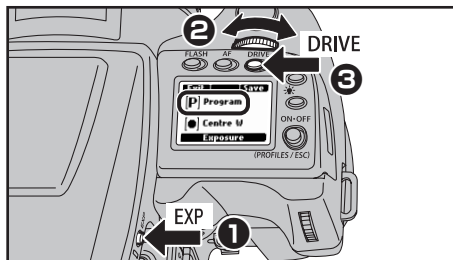
2. DRIVE（Yes）ボタンを押す

グリップLCDに“**Wind film off?**（フィルムを巻き上げますか？）”と表示されるので、**DRIVE**（**Yes**）ボタン、またはシャッターボタンを押します。

フィルムが最後まで巻き上げられ、フィルムカウンターに“**E**”が表示されたことを確認してからフィルムを取り出してください。

●フィルムの途中巻き上げをやめたいときは

FLASH（**No**）ボタンまたは**ESC**ボタンを押します。

フィルム途中巻き上げモードが解除され、撮影モード画面に戻ります。

Exp 露出モードの設定

●露出モード設定の基本操作

❶EXPボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回し、設定したい露出モードを表示させせます。

☞露出モード設定中、ファインダーLCDに“Exp”と表示されます。

❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。

☞登録した露出モードがグリップLCDとファインダーLCDに表示されます。

●露出モード一覧

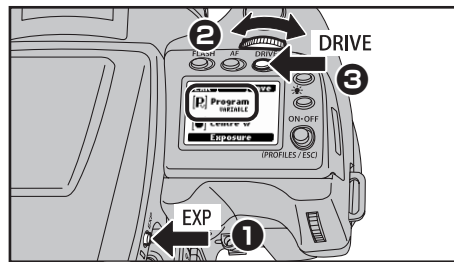
モード略称表示	モード表示	モード名	内容
Pv	**Program VARIABLE**	プログラムバリアブルAEモード	明るさに応じてカメラが自動的に絞りとシャッタースピードを合わせます。長焦点レンズではシャッタースピードが高速側にシフトするなど、レンズの種類によりプログラムが変わる高度なプログラムで、最適な露出で撮影できます。
P	**Program**	プログラムAEモード	明るさに応じてカメラが自動的に絞りとシャッタースピードを合わせます。
S	**Shutter pr.**	シャッター速度優先AEモード	シャッタースピードを決めると、カメラが自動的に絞りを合わせます。 ●動きのある被写体の撮影時、シャッタースピードを早くして被写体を止めたり、シャッタースピードを遅くして意図的に動きのある写真にするときに使用します。
A	**Aperture pr.**	絞り優先AEモード	絞りを決めると、カメラが自動的にシャッタースピードを合わせます。 ●被写界深度を利用し、絞りを開けて遠近感を出したり、絞って近距離から遠距離までピントを合わせたりするときに使用します。
M	**Manual**	マニュアル露出	撮影者の意図的な露出表現をするとき、逆光など**Pv**、**P**、**S**、**A**モードで不適な被写体の撮影時の露出設定に使用します。

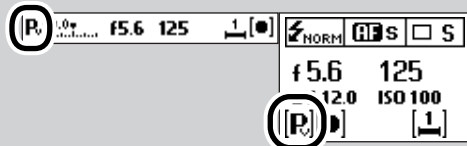
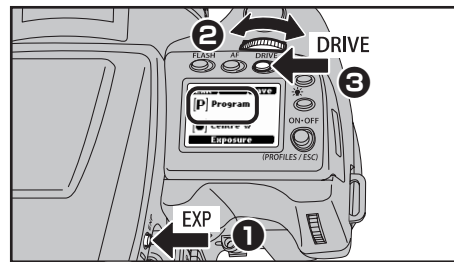
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

<登録後の表示>

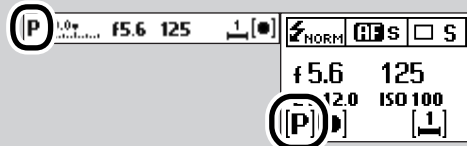
＊カメラが作動状態のときは、常に測光しています。AEロックの方法は、54ページを参照してください。

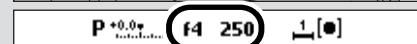
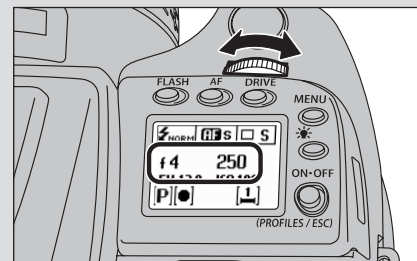
＊カスタム設定の**2.Ev increment**（→72ページ）で**S**、**A**、**M**モード時のEV変化量を変更できます。

Pv/Program VARIABLE：プログラムバリアブルAEモード

❶EXPボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、**Pv**：**Program VARIABLE**を表示させます。
☞露出モード設定中、ファインダーLCDに "Exp" と表示されます。
❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。
☞グリップLCDとファインダーLCDに "**Pv**" が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

P/Program：プログラムAEモード

❶EXPボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、**P**：**Program**を表示させます。
☞露出モード設定中、ファインダーLCDに "Exp" と表示されます。
❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。
☞グリップLCDとファインダーLCDに "**P**" が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

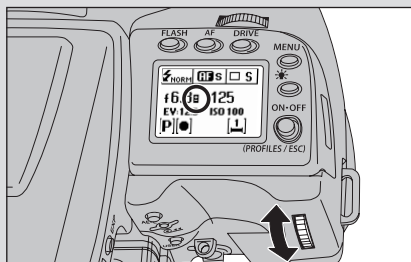
<登録後の表示>

プログラムシフト：Pv、Pモード時

Pv：プログラムバリアブルAEモード、**P**：プログラムAEモード設定時にフロントダイヤルを回すと、プログラムシフトできます。常に適正露出になるように、測光したEVで絞り値とシャッタースピードを同時に変更できます。

●**フロントダイヤルを右側に回す：**
シャッタースピードが速くなり、絞り値は開放側にシフト
- 動いている被写体の撮影時に手ブレを防止したいとき
- ボケを利用した撮影など

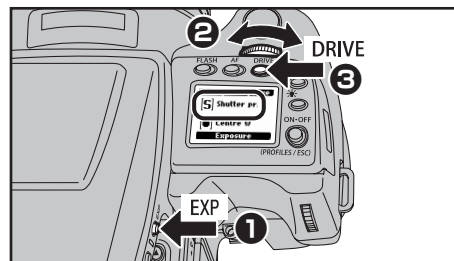
●**フロントダイヤルを左側に回す：**
シャッタースピードは遅くなり、絞り値は絞られる方向にシフト
- 被写体の動きを出すために被写体のブレを利用して撮影するとき
- 近距離から遠距離までピントを合わせたいときなど

＊シャッタースピードが遅くなりすぎると、カメラブレしやすくなりますので、シャッタースピードをよく確認してから撮影してください。

露出補正：Pv、P、S、Aモード時

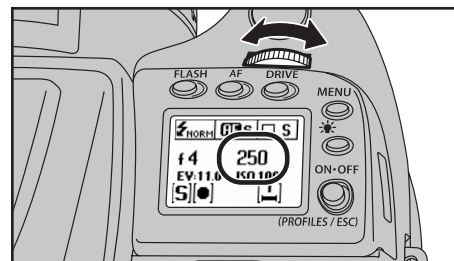
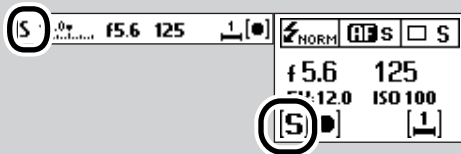
Pv：プログラムバリアブルAEモード、**P**：プログラムAEモード、**S**：シャッター速度優先AEモード、**A**：絞り優先AEモード設定時にリアダイヤルを回すと、撮影状況に合わせて迅速に露出補正できます。

●**リアダイヤルを上側に回す**：+方向に補正
●**リアダイヤルを下側に回す**：−方向に補正
ファインダーLCDの露出スケールに補正量が▼とEV値で表示されます。
グリップLCDには、マークが表示されます。

＊この方法で行った露出補正は、シャッターが切れると解除されます。ただし、カスタム設定の**19. AE-lock/Quick adjust**（→74ページ）で継続保持に変更できます。

S/Shutter pr.：シャッター速度優先AEモード

❶**EXP**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、**S**：**Shutter pr.**を表示させます。
☞露出モード設定中、ファインダーLCDに"Exp"と表示されます。
❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。
☞グリップLCDとファインダーLCDに"**S**"が表示されます。

フロントダイヤルを回し、合わせたいシャッタースピードをセットします。

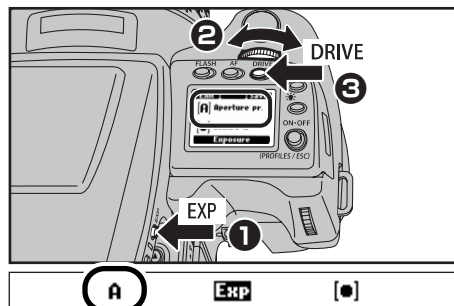
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

<登録後の表示>

＊絞り値表示部に"**--**"と表示された場合は、露出連動範囲外です。このとき、ファインダーLCDの露出スケールに適正露出からどのくらい外れているか（EV）が表示されます。露出連動範囲外でもシャッターは切れます。なお、カスタム設定の**8.Out of range exposure lock**（→72ページ）で、露出制御範囲外の場合、シャッターロックが掛かるように設定できます。

▼ -0.8 f-- 40

応用編

A/Aperture pr.：絞り優先AEモード

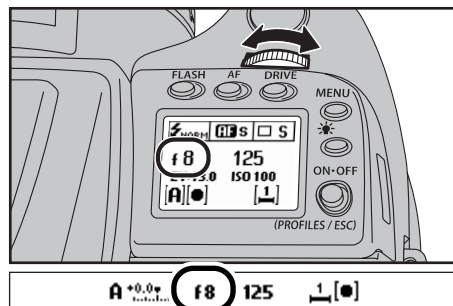
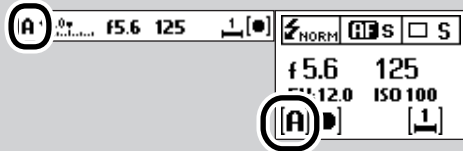
A　Exp　[●]

❶EXPボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回し、A：Aperture pr.を表示させせます。

☞露出モード設定中、ファインダーLCDに“Exp”と表示されます。

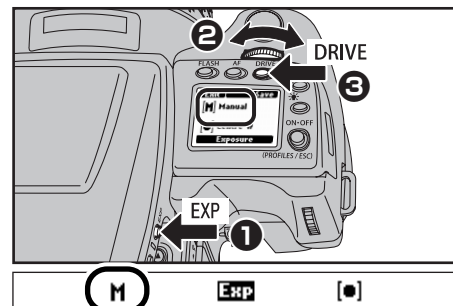
❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDとファインダーLCDに“A”が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

A　f8　125

フロントダイヤルを回し、合わせたい絞り値をセットします。

M/Manual：マニュアル露出

M　Exp　[●]

❶EXPボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回し、M：Manualを表示させせます。

☞露出モード設定中、ファインダーLCDに“Exp”と表示されます。

❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDとファインダーLCDに“M”が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

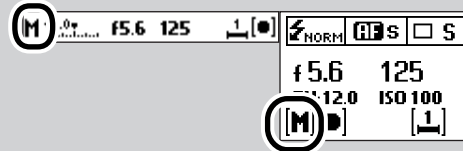
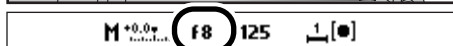
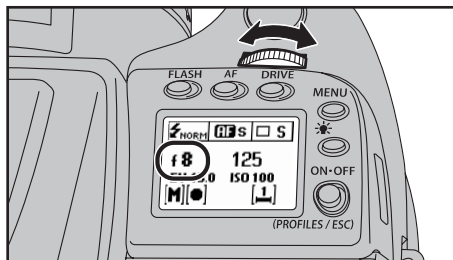
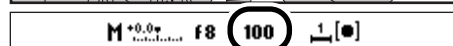
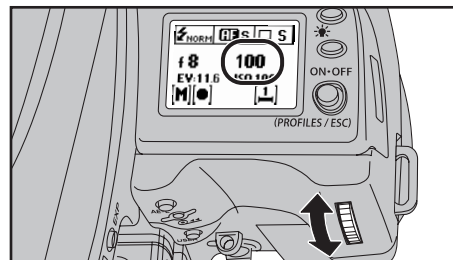
＜登録後の表示＞

＊シャッタースピード表示部に“--”と表示された場合は、露出連動範囲外です。このとき、ファインダーLCDの露出スケールに適正露出からどのぐらい外れているか（EV）が表示されます。露出連動範囲外でもシャッターは切れます。なお、カスタム設定の**8.Out of range exposure lock**（→72ページ）で、露出制御範囲外の場合、シャッターロックが掛かるように設定できます。

+2.6 → f3.2 ----

M +0.0 f8 125

フロントダイヤルを回し、合わせたい絞り値をセットします。

M +0.0 f8 100

リアダイヤルを回し、合わせたいシャッタースピードをセットします。

ファインダーLCDの露出スケールの見方

ファインダーLCDの露出スケールは、設定した露出、露出補正値が適正露出に対してどれぐらい+、－なのかを▼とEV値で表示します。

●適正露出

+0.0▼

“+0.0”と表示されます。

●アンダー

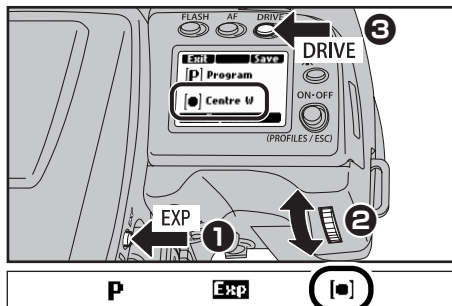
左図は、「0.3EVアンダー」を表しています。
シャッタースピードを遅くしたり、絞りを開けて、適正露出に近づけます。

●オーバー

+0.3 ▼

左図は「0.3EVオーバー」を表しています。
シャッタースピードを上げたり、絞りを絞って、適正露出に近づけます。

Exp 測光モードの設定

●測光モード設定の基本操作

露出モードから続けて測光モードを設定できます。フロントダイヤルで露出モードを設定した後、リアダイヤルを回して設定してください。

❶ **EXP**ボタンを押します。

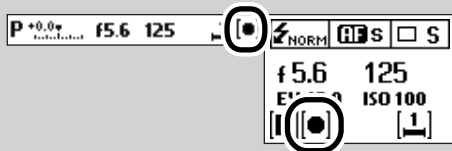
❷ リアダイヤルを回し、設定したい露出モードを表示させます。

☞露出モード設定中、ファインダーLCDに "**Exp**" と表示されます。

❸ **DRIVE（Save）**ボタンを押し、登録します。

☞登録した測光モードがグリップLCDとファインダーLCDに表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

＜登録後の表示＞

●測光モード一覧

モード略称表示	モード表示	モード名	測光範囲	内容
●	**Centre W**	中央部重点測光		画面中央部の約20%を測光します。ファインダー中央部の主要被写体の露出を中心に撮影したいときに使用します。
•	**Spot**	スポット測光		画面中央部の約2%、ファインダーの○マーク部分（スポット測光エリア）を測光します。被写体の特定部分を正確に測りたいときに使用します。
■	**Average**	平均測光		画面中央部の約70%を測光します。

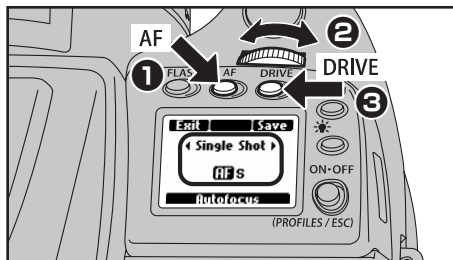
●スポット測光について
Normalモード：通常の撮影で使用します。

＊Spotモードはカスタム設定の**10.Spot mode**（→73ページ）でZoneモードに変更できます。
Zoneモードを選択していると、AEロックが掛かった状態になります。露出を測る場合は、**AE-L**ボタンを押し、指を離したときの測光値がカメラに表示されます。

＊Zoneモードとは……
測光エリアは18%グレーと想定して測光演算します。このとき、ファインダーLCDには18%グレーを基準とする "Zone5" と表示されます。カメラを動かすと、被写体の場所に応じて対応したゾーン値を0～10の範囲で表示します。リアダイヤルでZoneの名前を変更でき、そのときシャッタースピードと絞り値も変化します。18%反射のグレーを基準とし、"Zone5" とし、"0" に近づくと反射率の低い黒、"10" に近づくと反射率の高い白になります。被写体の周囲のZoneスケールを確認して、仕上げたい意図のスケールに合わせてください。

＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→75ページ）。

AF フォーカスモードの設定

●フォーカスモード設定の基本操作

❶AFボタンを押します。

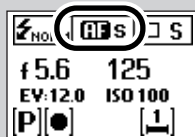
❷フロントダイヤルを回し、設定したいフォーカスモードを表示させます。

☞フォーカスモード設定中、ファインダーLCDに“AF”と表示されます。

❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。

☞登録したフォーカスモードがグリップLCDに表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

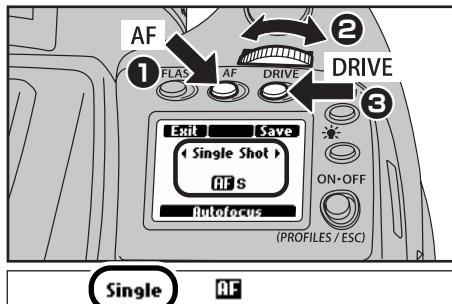
<登録後の表示>

●フォーカスモード一覧

フォーカスモード ＼ フィルム給送モード（46ページ）	AF S/Single Shot：シングルオートフォーカス	AF C/Continuous：コンティニュアスオートフォーカス	MF/Manual：マニュアルフォーカス
	シャッターボタンを押すごとにピントを合わせます。 ●静止している被写体など、一般的な撮影に使用します。	シャッターボタンを半押ししている間、連続的にピントを合わせます。 ●動きのある被写体の撮影に使用します。	フォーカスリングを回し、手動でピントを合わせます。 ●オートフォーカスではピント合わせが難しいシーンで使用します。
□S/Single：1コマ給送モード	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、合焦マークが点灯した後、AFロックします。シャッターボタンを深く押し込むと、シャッターが切れます。	シャッターボタンを半押しすると、連続的にピントを合わせます。 ☞合焦マークが点灯しなくてもシャッターが切れます。 ＊合焦マークが点灯したことを確認してからシャッターを切ってください。 次々にフレーミングを変えながら撮影するときに有効です。	レンズのフォーカスリングを回し、ファインダーでピントを確認します。 ＊ファインダー内のAFフレーム内の被写体にピントが合ったときは、合焦マークが点灯し、フォーカスエイドとして使用できます。
⧉C/Continuous：連続給送モード	シャッターボタンを押し続けると、1コマ目はピントが合ったところでAFロックが掛かり、シャッターは連続的に切れます。	1コマはピントが合ってない状態でもシャッターが切れます。2コマ目以降はピントが合ってからシャッターが切れます。 ＊1コマ目は合焦マークが点灯したことを確認してからシャッターを切ってください。	ピントに関係なく、シャッターボタンを押している間、シャッターが切れます。

＊ MF/Manual設定時でもUSERボタンを押すとAFが働くように設定できます（→75ページ）。

応用編

AF フォーカスモードの設定

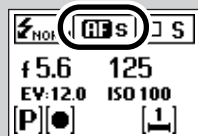
AF S/Single Shot：シングルオートフォーカスモード

❶AFボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回し、AF S：Single Shotを表示させます。

☞フォーカスモード設定中、ファインダーLCDに"AF"と表示されます。

❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDに"AF S"が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

AF C/Continuous：コンティニュアスオートフォーカスモード

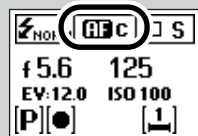
❶AFボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回し、AF C：Continuousを表示させます。

☞フォーカスモード設定中、ファインダーLCDに"AF"と表示されます。

❸DRIVE（Save）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDに"AF C"が表示されます。

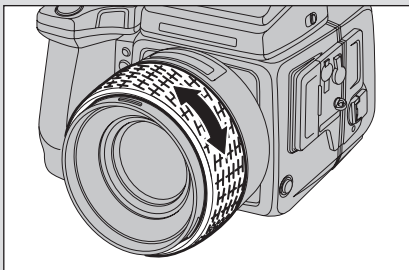
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

AF撮影方法

❶ピントを合わせたい被写体にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

☞自動的にピント合わせが開始されます

❷ピントが合うと、合焦マークが2つとも点灯します（→44ページ）。

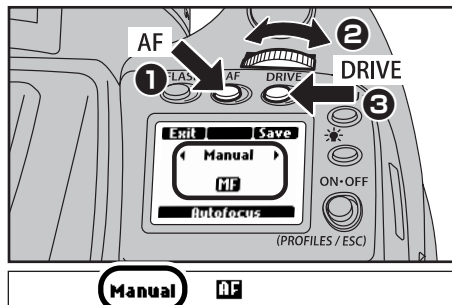
＜登録後の表示＞

＊AF S：シングルオートフォーカスモード時は、合焦マークが2つとも点灯していないとシャッターは切れません。

レディマニュアルフォーカス

本機はレディマニュアルフォーカス（マニュアルフォーカス瞬時切り替え機能）方式を採用しています。オートフォーカスでピントを合わせた後、シャッターボタンを半押ししたままレンズのフォーカスリングを回すと、自動的にマニュアルフォーカスに切り替わり、ピントを微調整できます。

☞ AF S：シングルオートフォーカスモード時、ファインダー内の合焦マークは点灯したままです。

＊シャッターボタンから指を離し、再びシャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスモードに戻ります。

MF/Manual：マニュアルフォーカスモード

❶**AF**ボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回し、MF：**Manual**を表示させせます。

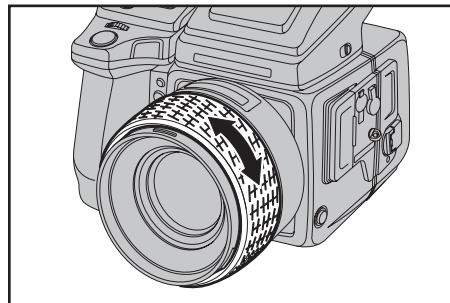
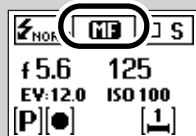
☞フォーカスモード設定中、ファインダーLCDに“AF”と表示されます。

❸**DRIVE（Save）**ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDに“MF”が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

<登録後の表示>

MF撮影方法

レンズのフォーカスリングを回し、ファインダーでピントが合っているかを確認してからシャッターを切ります。

＊カスタム設定の**11.Focus aid in MF**（→73ページ）が“**Half press**”“**Always**”になっていると、AFフレーム内の被写体にピントが合ったときに合焦マークが点灯します。フォーカスエイドとして利用してください。

ピント合わせと合焦マーク

AFフレーム内の被写体にピントが合っているかをファインダー内の合焦マークで確認できます。

●合焦マークが2つとも点灯

ピントが合っています。

●一方の合焦マークが点灯

ピントが合っていません。

▶はピントが被写体より前側にセットされていることを示します。

◀はピントが被写体より遠側にセットされていることを示します。

●合焦マークは無点灯

ピントが合っていません。

＊▶◀が点滅：測距不能です。
コントラストのあるところ、被写体の形状がよく分かるところでピントを合わせ直すか、**MF**：マニュアルフォーカス（→43ページ）を行ってください。

＊**AF S**：シングルオートフォーカスモード時は、合焦マークが2つとも点灯していないとシャッターは切れません。

＊カスタム設定の**11.Focus aid in MF**（→73ページ）で、**MF**：マニュアルフォーカス時に合焦マークを点灯（フォーカスエイド）する／（半押し時／常時）しないを変更できます。

フォーカスロック

＊ AF S：シングルオートフォーカスモード時のみ

AFフレーム内に被写体がないとき、構図をずらして被写体にピントを合わせてロックし、元の構図に戻して撮影する方法です。

1. ピント外れ

被写体がAFフレームから外れています。このままではピントが合いません。

2. 被写体にAFフレームを合わせてフォーカスロック

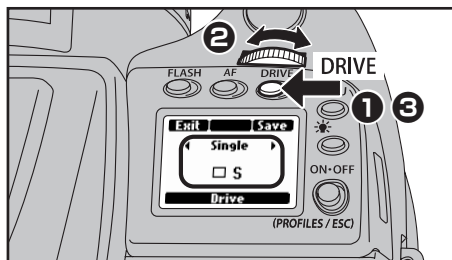
AFフレームを主要被写体に合わせてシャッターボタンを半押しし、フォーカスロックします。

3. 元の構図に戻して撮影

シャッターボタンを半押ししたまま構図を決め、シャッターを切ります。

Drive フィルム給送モードの設定

●フィルム給送モード設定の基本操作

Single　Drive

❶**DRIVE**ボタンを押します。

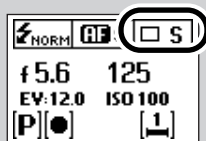
❷フロントダイヤルを回し、設定したいフィルム給送モードを表示させます。

☞フィルム給送モード設定中、ファインダーLCDに“**Drive**”と表示されます。

❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞登録したフィルム給送モードがグリップLCDに表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

＊**Multi exp.**の設定、撮影方法は47ページを参照してください。

●フィルム給送モード一覧

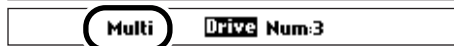
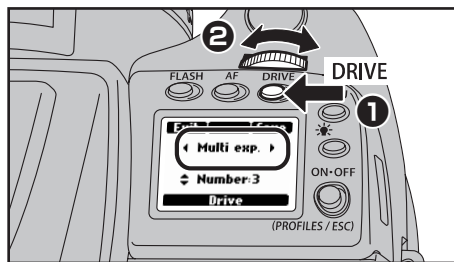
モード略称表示	モード表示	モード名	内容
□S	**Single**	1コマ給送モード	シャッターボタンを押すごとに1コマずつシャッターが切れ、フィルムを給送します。
C	**Continuous**	連続給送モード	シャッターボタンを押している間、連続的にシャッターが切れ、フィルムを給送します。＊最高約2コマ／秒
	Multi exp.	多重露光モード	シャッターが切れてもフィルムが送られず、数回同じコマに撮影できます。露光回数は2回〜5回、無制限から設定できます。

<登録後の表示>

多重露光

撮影後もフィルムを給送せず、同じコマに数回撮影できます。●露光回数は2回〜5回、無制限から設定できます。

1. Multi exp.：多重露光を設定

Multi　Drive Num:3

❶ **DRIVE**ボタンを押します。

❷ フロントダイヤルを回し、“**Multi exp.**”を表示させせます。

☞フィルム給送モード設定中、ファインダーLCDに“**Drive**”と表示されます。

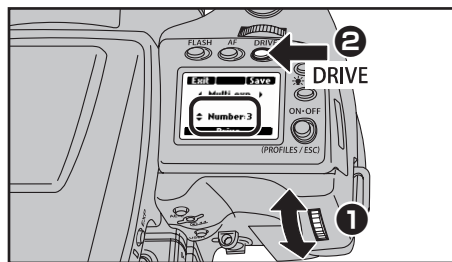
＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→74ページ）。

多重露光時の露出補正の目安

多重露光回数	
2回	－1.0EV
3回	－1.5EV
4回	－2.0EV

＊これは一般的なデータです。撮影状況により変化しますので、あらかじめテスト撮影してデータを取ってください。

2. 多重露光回数を設定

Multi　Driv Num:3

❶ リアダイヤルを回し、露光回数を選択します。

☞露光回数選択中、ファインダーLCDに“**Num**：露光回数”が表示されます。

❷ **DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDに“**Exp:0/3**（撮影済みの回数/設定した露光回数）”、ファインダーLCDに“**M.E:0**（撮影済みの回数）”が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

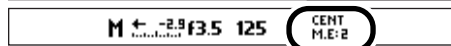
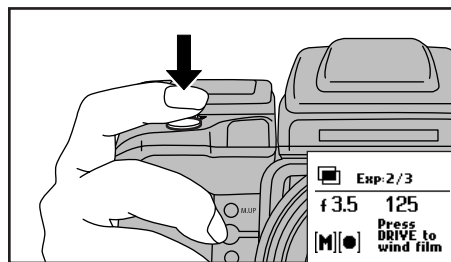
<登録後の表示>

M　f3.5　125

Exp:0/3
f3.5　125
[M][●]

＊多重露光を設定すると、ファインダーLCDの測光モード表示は次のように変わります。
- **CENT**：●中央部重点測光
- **SPOT**：•スポット測光
- **AVER**：■平均測光

3. 撮影

M　f3.5　125　CENT M.E:2

シャッターボタンを押すと、グリップLCDとファインダーLCDの撮影済み露光回数が1ずつ増えます。

設定した回数の撮影が終わると、フィルムが給送され、撮影済み露光回数が“**0**”に戻ります。

＊設定した回数の撮影が終わる前に**DRIVE**ボタンを押すと、フィルムが給送され、撮影済み露光回数が“**0**”に戻ります。

＊**No limit**：無制限の場合、**DRIVE**ボタンを押すと、フィルムが給送されます。

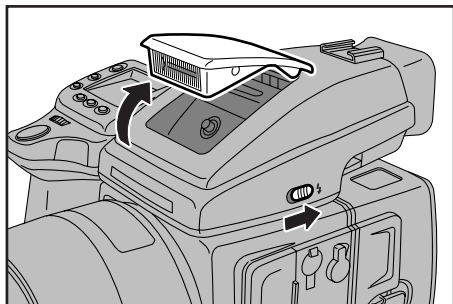
●多重露光の解除

ON·OFF（**PROFILE/ESC**）ボタンを1回押すと、多重露光モードは解除され、□**S**：**Single**にセットされます。

＊1秒以上押すとメイン電源がOFFしますので、ご注意ください。

内蔵フラッシュによる撮影

日陰でのスナップ撮影やキャッチライト効果など、日中シンクロに有効です。
●照射角：50mmレンズをカバー

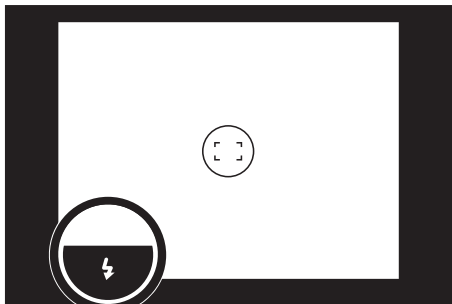
＊HC50-110mmズームレンズはレンズが長いため画面がケラレます。

1. フラッシュをポップアップ

フラッシュスイッチをスライドし、内蔵フラッシュ発光部をポップアップします。

●フラッシュ撮影時の露光調節は、設定した絞り値に対する被写体の反射光量で発光光量を調節するTTL（Through the lens）自動調光方式です。

2. 充電完了後、撮影

ファインダーLCDの“ϟ”が点滅し、充電が完了すると“ϟ”が点灯します。
“ϟ”の点灯を確認してから撮影してください。

＊レンズを通して入った被写体の反射光量は、画面の中央部の光量をボディ内のフラッシュセンサーで測定しています。
＊フラッシュがポップアップしているときは、強制発光となります。
＊レンズによってはフラッシュ光がケラレる恐れがありますのでご注意ください。詳しくはレンズの使用説明書をご参照ください。

＊“ϟ”点滅中はフラッシュ充電中です。このときシャッターボタンを押してもシャッターは切れません。
＊カスタム設定の**5.Flash ready exposure lock**（→72ページ）で、“ϟ”点滅中でもシャッターが切れるように設定できます。このとき、フラッシュの露光不足となることがありますので、ご注意ください。

フラッシュ撮影時のシャッタースピード

●**Pv/Program VARIABLE**：プログラムバリアブルAEモード、**P/Program**：プログラムAEモード時
内蔵フラッシュをポップアップさせたとき：低速シャッタースピードは1/60秒より遅くなりません。
＊1/60秒以上のシャッタースピードで撮影できる場合は、**Pv**、**P**モードの測光値で撮影されます。

●**S/Shutter pr.**：シャッター速度優先AEモード、**A/Aperture pr.**：絞り優先AEモード、**M/Manual**：マニュアル露出モード時
シャッタースピードは被写体輝度に応じて変わり、低速シャッタースピードも可能です。
＊手ブレ、被写体ブレにはご注意ください。

調光範囲

最大発光時のガイドナンバー（GNo.）=12（ISO100）
＊ガイドナンバーは、フィルム感度が2倍になると1.4倍、4倍になると2倍になります。

フィルム感度（ISO）	ガイドナンバー（GNo.）
50	8.5
100	12
160	15
200	17
400	24
800	34

フラッシュ到達距離は、ガイドナンバーを絞り値で割って算出します。

$$\text{フラッシュ到達距離} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{絞り値（F値）}}$$

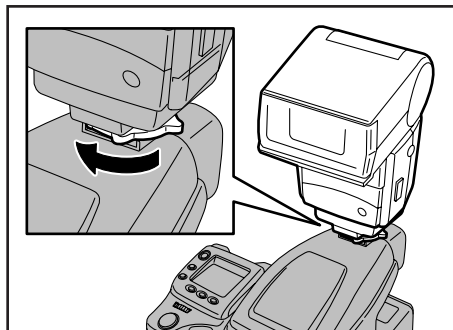
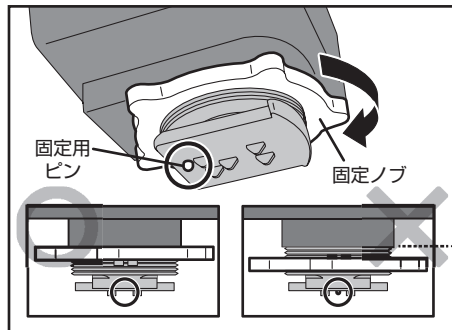
$$\frac{\text{GNo. }12}{\text{F2.8}} = 4.3\text{m}$$

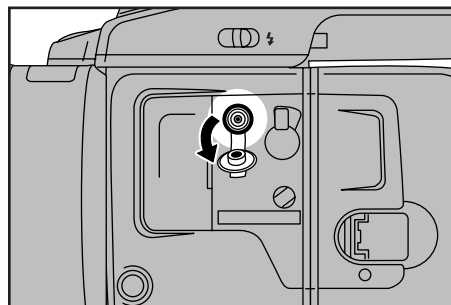
＊フラッシュ到達距離は計算上の値です。ネガフィルムはラチチュードが広いため、上表より遠い距離までフラッシュ光が届きます。

外付けフラッシュによる撮影

＊フラッシュの使用方法はフラッシュの使用説明書に従ってください。

別売のSCA3902フラッシュアダプターにより、メッツSCA3002タイプフラッシュに対応し、TTL自動調光およびカメラのフラッシュ機能が使用できます。

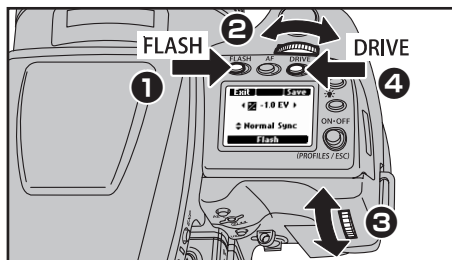
クリップオンタイプをホットシューに取り付ける

❶ホットシューカバーを外します。
❷外付けフラッシュをホットシューに取り付けます。

＊別売のSCA3902フラッシュアダプターをボディに取り付け／取り外すときは、フラッシュアダプターの固定ノブを完全に上まで回し切ってから行ってください。固定ノブがねじの途中までしか回っていないと、固定用ピンが引っ掛かり、スムーズに動きません。

シンクロコードタイプのフラッシュを使用の場合

❶シンクロソケットカバーを開け、
❷フラッシュコードをシンクロソケットに取り付けます。

- 別売のSCA3902フラッシュアダプターを使用しない場合、**Pv**、**P**、**S**モードでは絞り値が設定できません。**A**、**M**モードに設定してください。
- ホットシューカバーは接点の汚れ防止などのために取り付けられています。外付けフラッシュを使用しないときはホットシューカバーを取り付けてください。接点が汚れたりすると、別売のSCA3902フラッシュアダプターが正常に動作しなくなることがあります。
- 信号ピン付きの他社カメラ専用のフラッシュを取り付けると、フラッシュが外せなくなったり、カメラの故障の原因となる場合がありますので、使用しないでください。
- 市販の極性の異なるホットシュータイプのフラッシュは使用できない場合があります。

- シンクロソケットに外付けフラッシュを取り付けて撮影する場合、**Pv**、**P**、**S**モードでは絞り値が設定できません。**A**、**M**モードに設定してください。
- 内蔵フラッシュと外付けフラッシュを併用しないでください。正常にフラッシュが動作しない場合があります。

Flash フラッシュ応用機能

●フラッシュ応用機能設定の基本

−1.0 Ev Flash Normal

❶**FLASH**ボタンを押します。

☞フラッシュ応用機能設定中、ファインダーLCDに"**Flash**"と表示されます。

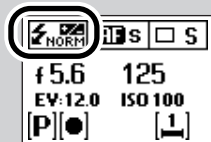
❷フラッシュ調光補正をする場合は、フロントダイヤルで補正量を設定します。

❸リアダイヤルを回し、シンクロタイミング（**Normal**、**Rear**）、フラッシュメーター機能を選択します。

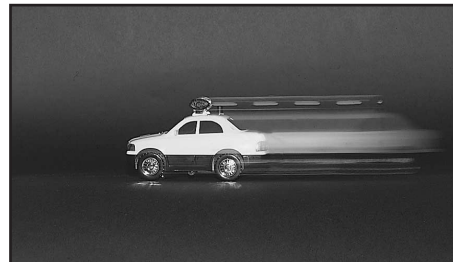
❹**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞登録した露出モードがグリップLCDに表示されます。

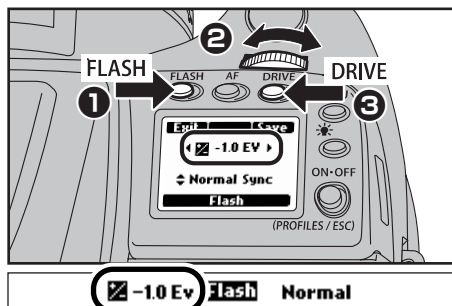
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

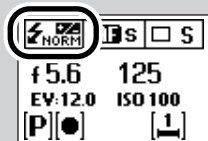
＜登録後の表示＞

●フラッシュ応用機能一覧

操作部位	グリップLCD表示	ファインダーLCD表示	モード名	内容
フロントダイヤル	フラッシュ調光補正値	例） **−0.3EV**	フラッシュ調光補正	内蔵フラッシュおよびSCA3002対応の外付けフラッシュ使用時には、自動調光レベルを補正できます。フラッシュ調光補正は、1/3（0.3）EV刻みで、±3EVまでです。
リアダイヤル	**Normal sync**	**Normal**	シンクロタイミング：ノーマルシンクロ	シャッターが開くと同時にフラッシュが発光します。光が照らされた後、自然光で被写体が流れるように撮影できます。
	Rear sync	**Rear**	シンクロタイミング：リアシンクロ	シャッターが閉じる前にフラッシュが発光します。スローシャッターで動きのある被写体の撮影に有効です。
	Flash Measure	**Measure**	フラッシュメーター機能	外付けフラッシュ使用時には、フラッシュ光を測光するフラッシュメーターとして使用できます。

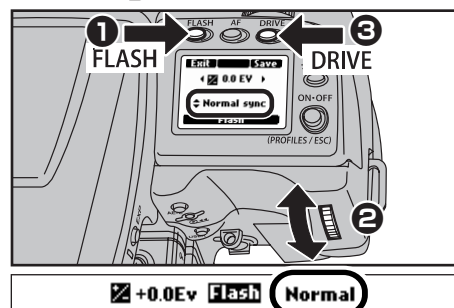
ノーマルシンクロ

リアシンクロ

フラッシュ調光補正

−1.0 Ev Flash Normal

❶**FLASH**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、フラッシュ調光補正量を選択します。
☞フラッシュ調光補正設定中、ファインダーLCDに“**Flash**”と選択したフラッシュ調光補正量が表示されます。
❸**DRIVE（Save）**ボタンを押し、登録します。
☞登録した設定内容がグリップLCDに表示されます。

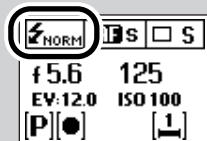
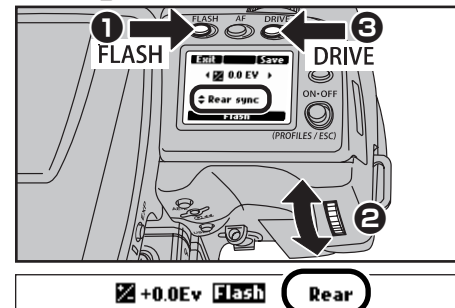
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

シンクロタイミングの設定

Normal sync：ノーマルシンクロ

+0.0Ev Flash Normal

❶**FLASH**ボタンを押します。
❷リアダイヤルを回し、“**Normal sync**”を選択します。
☞シンクロタイミング設定中、ファインダーLCDに“**Flash**”と選択内容が表示されます。
❸**DRIVE（Save）**ボタンを押し、登録します。
☞登録した設定内容がグリップLCDに表示されます。

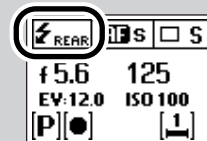
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

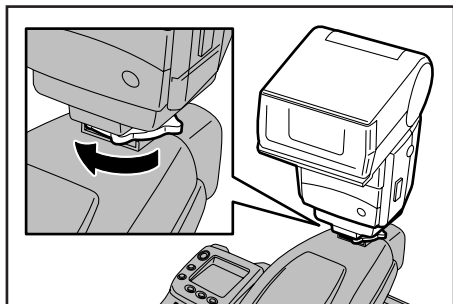
Rear sync：リアシンクロ

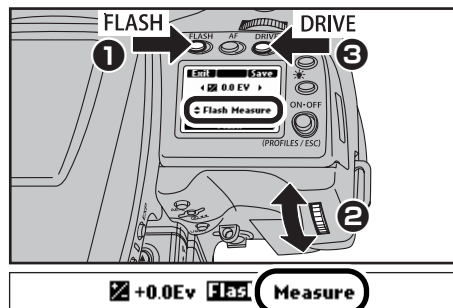
+0.0Ev Flash Rear

❶**FLASH**ボタンを押します。
❷リアダイヤルを回し、“**Rear sync**”を選択します。
☞シンクロタイミング設定中、ファインダーLCDに“**Flash**”と選択内容が表示されます。
❸**DRIVE（Save）**ボタンを押し、登録します。
☞登録した設定内容がグリップLCDに表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

＜登録後の表示＞

応用編

フラッシュメーター機能

1. フラッシュを取り付ける（→49ページ）

外付けフラッシュをボディに取り付けます。

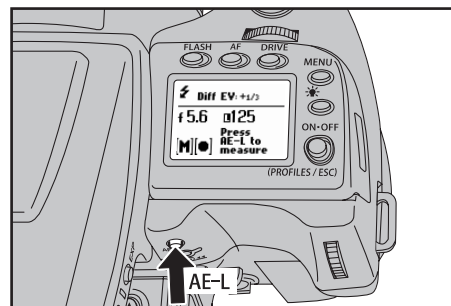
2. Flash Measure：フラッシュメーター機能を設定

❶ **FLASH**ボタンを押します。

❷ リアダイヤルを回し、“**Flash Measure**”を選択します。

☞ファインダーLCDに“**Measure**”と表示されます。

❸ **DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDは下のような表示になります。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

3. AE-Lボタンを押す

AE-Lボタンを押します。

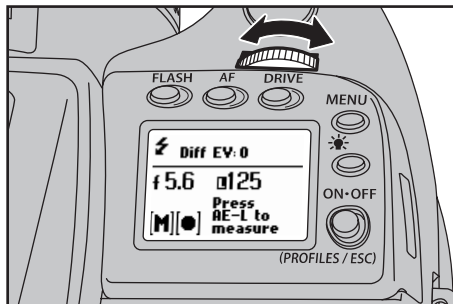
☞フラッシュが発光して測光し、測定結果がグリップLCDに表示されます。

＊内蔵フラッシュ、SCA3902フラッシュアダプターを使用してオート（TTL）に設定した場合、フラッシュメーター機能は使えません。

＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→74ページ）。

＜登録後の表示＞

測光するために**AE-L**ボタンを押してください。

4. 適正発光量になるように絞りを調整

適正発光量との誤差がグリップLCDに表示されます。

フロントダイヤルを回して（絞り値の変更）、適正発光量との誤差が0になるようにすると、適正発光量で撮影できます。

●フラッシュメーター機能の解除

ON・OFF（**PROFILE/ESC**）ボタンを1回押すと、フラッシュメーター機能は解除されます。

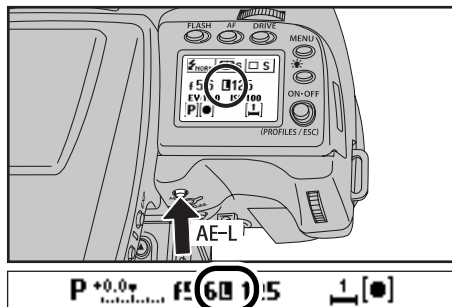
＊1秒以上押すとメイン電源がOFFしますので、ご注意ください。

AEロック

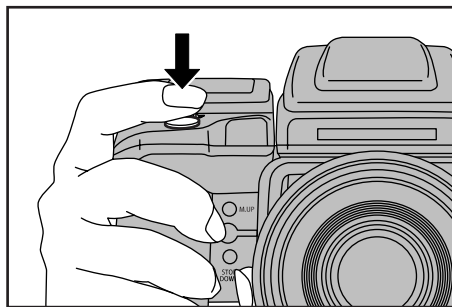
露出を決めた後で構図を決めて撮影するときに使用します。

1. 露出を合わせたい被写体にAFフレームを合わせる

露出を合わせたい被写体にAFフレームを合わせます。

2. AE-Lボタンを押す

AE-Lボタンを押します。

☞グリップLCD、ファインダーLCDに“L”が表示され、露出が固定されます。

3. 撮影

撮影する被写体にピントを合わせ、構図を決めて撮影します。

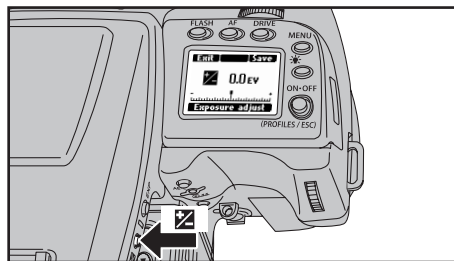
＊AEロック時、フロントダイヤルを回すと、ロックされたEV値でプログラムシフトできます。

＊AEロックをやり直すときは、**AE-L**ボタンを押してLCD表示の“L”を一度消去し、再度**AE-L**ボタンを押してください。

＊AEロックはシャッターが切れると解除されます。ただし、カスタム設定の**19.AE-lock/Quick adjust**（→74ページ）で継続保持に変更できます。

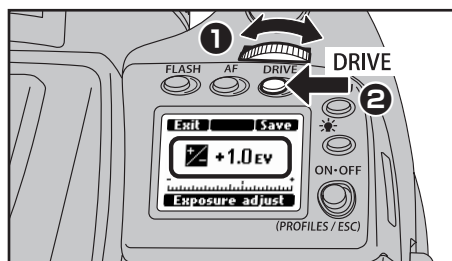
± 露出補正

撮影時の露出を意図的に変えるときに使用します。露出補正量は、－5EVから＋5EVまで、1/3（0.3）EV刻みで設定できます。

1. ±ボタンを押す

EXPOSURE ADJUSTMENT ± +0.0 Ev

±ボタンを押します。

☞グリップLCDとファインダーLCDに“±”が表示されます。

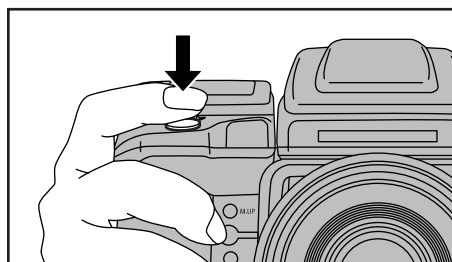
2. 露出補正量を設定

EXPOSURE ADJUSTMENT ± +1.0 Ev

❶フロントダイヤルを回し、露出補正量を選択します。

❷**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

☞グリップLCDとファインダーLCDに“±”が表示されます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

3. 撮影

構図を決めて撮影します。

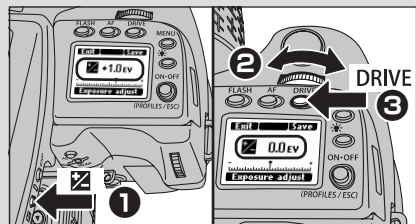
●設定した露出補正量は撮影後も保持されます。

●±ボタンを押して露出補正を設定しているときに、露出モードが**Pv**、**P**、**S**、**A**モードでリアダイヤルを回して露出補正すると（→37ページ）、±ボタンを押して設定した露出に対して補正がかかります。

＊**Pv**、**P**、**S**、**A**モード時、グリップLCD、ファインダーLCDの露出表示は、実際に撮影するときの値が表示されます。
ファインダーLCDの露出スケールには、露出補正値が表示されます。

＊**M**モード時、グリップLCD、ファインダーLCDの露出表示は、設定した値が表示されます。
ファインダーLCDの露出スケールには、適正露出に対してどのぐらい+、−なのかが表示されます。

＊露出補正しているときにAEロック(→54ページ)すると、ファインダーLCDの“±”は表示されず“L”が表示されます。AEロックが解除されると“±”が表示されます。

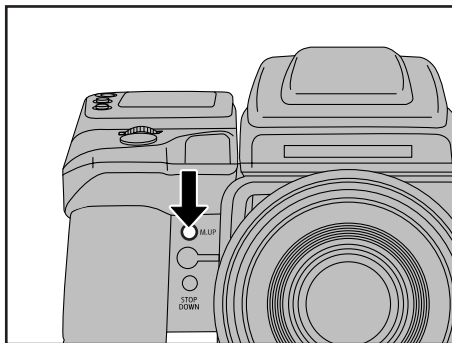
●露出補正の解除

❶±ボタンを押します。

❷フロントダイヤルを回して、露出補正量を“**0.0EV**”にします。

❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

応用編

ミラーアップ

撮影前にミラーを上げておき、シャッターボタンを押したときにシャッターだけを作動させます。シャッターボタンを押したときにミラー駆動がないため、カメラの駆動ショックを最低限に抑えられます。長時間露光、スローシャッターでの撮影、カメラブレしやすい長焦点レンズを使用する場合に有効です。

構図を決め、ピントと露出を合わせたら、**M.UP**ボタンを押します。

☞ミラーが上がります。

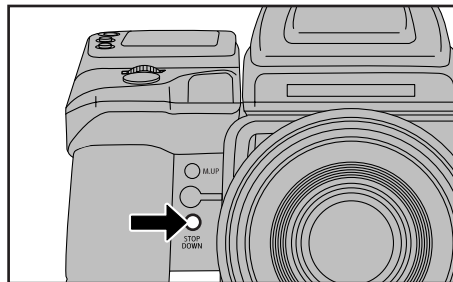
☞**M.UP**ボタンを押したときに、フォーカス、露出もロックされます。

＊もう一度**M.UP**ボタンを押すと、ミラーは下がります。

＊レンズを取り外すときは、ミラーを下げてください。ミラーを上げたままレンズを取り外すと、光カブリすることがあります。

＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→75ページ）。

プレビュー（絞り込み）

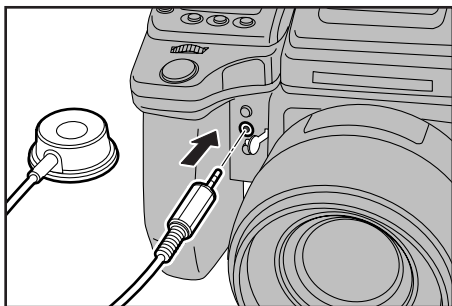
レンズは常に開放絞りの状態になっています。被写界深度の確認、ボケ具合の確認に使用します。

STOP/DOWNボタンを押します。

☞**STOP/DOWN**ボタンを押している間、設定された絞り値に絞り込みます。

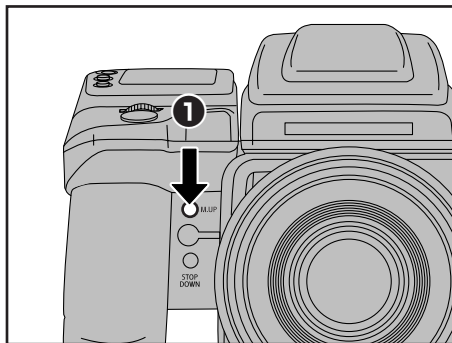
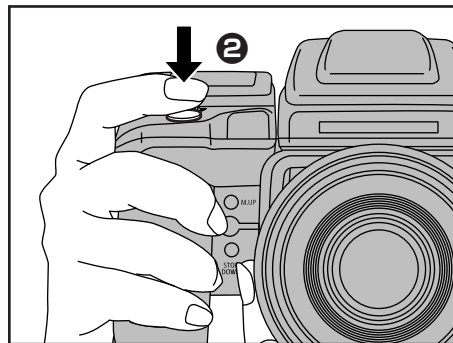
☞**STOP/DOWN**ボタンを押している間、AEロックが掛かります。

＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→74ページ）。

リモートレリーズ

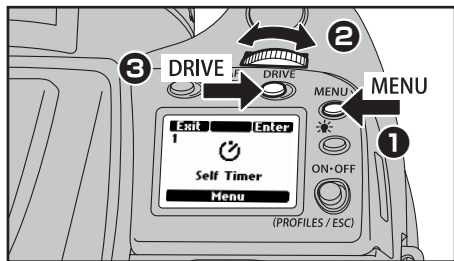
別売のリモートレリーズコードが必要です。

❶リモートレリーズのコードの先端をボディのリモートレリーズソケットに差し込みます。

❷構図を決めて、リモートレリーズボタンを押します。
リモートレリーズボタンを半押しすると、AFが作動します。さらに強く押すと、シャッターが切れます。

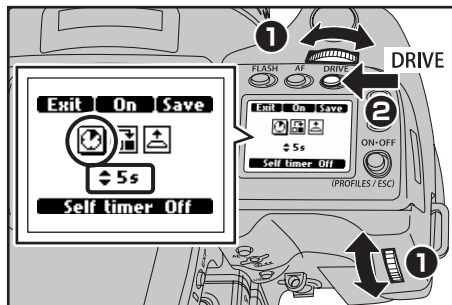
ミラーアップボタンを使用したセルフタイマー撮影

❶**M.UP**/⏲ボタンを素早く2度押すと、セルフタイマーモードにセットされます。

❷シャッターボタンを押して、セルフタイマーを作動させます。

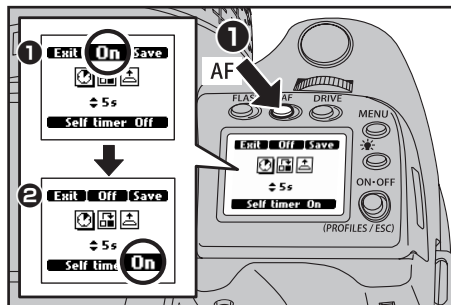
☞シャッター作動後、ミラーアップ状態を保持し、セルフタイマーモードは解除されます。**M.UP**/⏲ボタンを押して、通常撮影状態に戻してください。リモートレリーズのスイッチ半押しで、AFおよびフォーカスエイドが作動します。さらに強く押すと、シャッターが切れます。

MENUモードについて

1. メニューを選択

Menu mode

❶**MENU**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、選択／設定したい項目を選択します。
☞MENUモード選択／設定中、グリップLCDとファインダーLCDに "**Menu mode**" が表示されます。
❸**DRIVE**（**Enter**）ボタンを押し、詳細設定に入ります。

2. 設定項目を選択

❶フロントダイヤル、リアダイヤルで設定／選択します。
❷**DRIVE**（**Save**）ボタンを押し、登録します。

3. AFボタンを押して、モードON

❶**AF**（**On**）ボタンを押して、モードをONにします。
☞モードがONになると、❷のようになります。
＊MENU内の撮影モードを設定すると、ファインダーLCD、グリップLCDにフィルムカウンターは表示されません。
＊MENU内の撮影モードを組み合わせて使用することはできません。

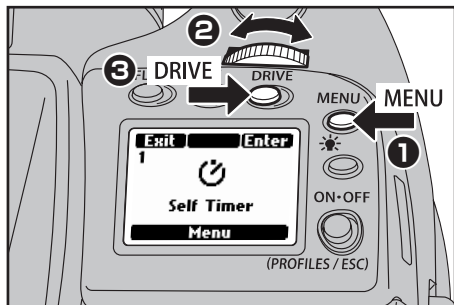
設定登録時の操作ボタンについて

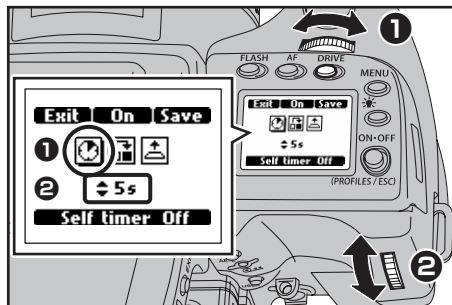
●**FLASH**（**Exit**）ボタン：
表示内容を登録せず、前画面に戻る。
●**DRIVE**（**Save**）ボタン：
表示内容を登録して、前画面に戻る。
●シャッターボタン半押し：
表示内容を登録して、撮影モード画面に戻る。
●**ON・OFF**（**PROFILE/ESC**）ボタン：
表示内容を登録せず、撮影モード画面に戻る。

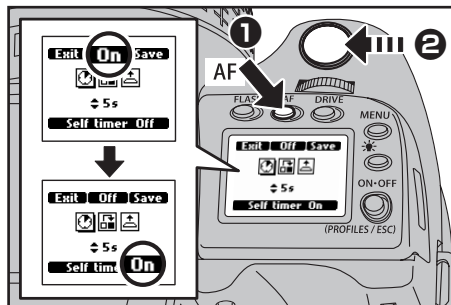
●MENUモード一覧

モード	フロントダイヤルで選択	リアダイヤルで選択	内容
1. **Self Timer**：セルフタイマー撮影（→60ページ）	セルフタイマー作動時間	2s～60s	2秒～60秒から選択
	ミラーアップタイミング	DELAY/MIRROR UP	セルフタイマー作動後、ミラーアップ→撮影 ＊通常のセルフタイマー撮影時に使用します。
		MIRROR UP/DELAY	ミラーアップしてからセルフタイマーが作動→撮影 ＊セルフタイマー作動時間を2秒～3秒に設定したときにこのモードを選択すると、スローシャッターでもカメラブレを防ぐことができます。
	撮影後のミラーの位置	MIRROR GOES DOWN	セルフタイマー撮影後、ミラーは下がる
		MIRROR REMAINS UP	セルフタイマー撮影後もミラーは上がったまま
2. **Bracketing**：AEB撮影（→62ページ）	撮影コマ数	2 frames, 3 frames, 5 frames	2コマ、3コマ、5コマから選択
	撮影順	▦ □ ■	標準→オーバー→アンダーの順に撮影
		▦ ■ □	標準→アンダー→オーバーの順に撮影
		□ ▦ ■	オーバー→標準→アンダーの順に撮影
		■ ▦ □	アンダー→標準→オーバーの順に撮影
	補正量	1/3EV	1/3（0.3）EVステップで撮影
		1/2EV	1/2（0.5）EVステップで撮影
		1EV	1EVステップで撮影
3. **Interval**：インターバルタイマー撮影（→65ページ）	撮影コマ数	2～32 frames	2コマ～32コマから選択
	撮影間隔	1s～24h	1秒～24時間の間で選択
4. **Settings**：設定（→67ページ）	4.1 Custum options	カメラの各種設定が行えます（→71ページ）。	
	4.2 Imprint	写真に写し込むテキストの設定、写し込む内容が設定できます（68、69ページ）。	
	4.3 Date & time	フロントダイヤルで設定項目の移動、リアダイヤルで数値の修正を行います（→67ページ）。	
	4.4 Info	カメラの情報、ソフトウェアのバージョンなどが確認できます（→76ページ）。	

セルフタイマー撮影

1. Self Timerを選択

❶**MENU**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、“**Self Timer**”を表示させます。
❸**DRIVE**（**Enter**）ボタンを押し、詳細設定に入ります。

2. セルフタイマー時間を選択

❶を選択します。
❷リアダイヤルを回し、セルフタイマー時間を選択します。
☞2秒〜60秒から選択できます。

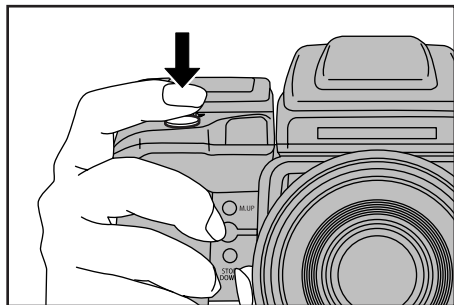
3. セルフタイマーの設定を登録

❶**AF**（**On**）ボタンを押して、モードをONにします。
☞グリップLCDに“**Self Timer On**（セルフタイマーをセット）”が表示されます。
❷シャッターボタンを半押しすると、“”とセルフタイマー時間など設定が表示されます。

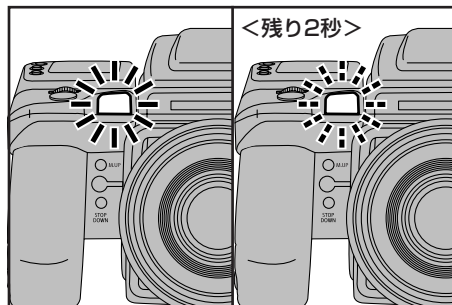
＊**DRIVE**（**Save**）ボタンを押しても登録できます。この場合、続けて他の設定ができます。
＊登録をキャンセルする場合は、**FLASH**（**Exit**）ボタンを押してください。

＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→74ページ）。

＜登録後の表示＞

シャッターボタンを押してください。

4. シャッターボタンを押す

構図を決めて、シャッターボタンを押します。

5. セルフタイマー開始

セルフタイマーランプが点滅し、残り2秒になると早い点滅に変わってからシャッターが切れます。

☞セルフタイマー作動中は、グリップLCD、ファインダーLCDの“ ”の秒針部分が回転し、セルフタイマー設定時間表示がカウントダウンします。
カスタム設定の**15.Beeper**（操作音）の設定がONになっていると、作動音も鳴ります。

＊カスタム設定の**15.Beeper**（→73ページ）で、セルフタイマーの作動音を鳴らさないようにも設定できます。

＊セルフタイマーモードは、シャッターが切れた後、解除されます。もう一度セルフタイマー撮影するときは、セルフタイマーの設定をONにしてください。

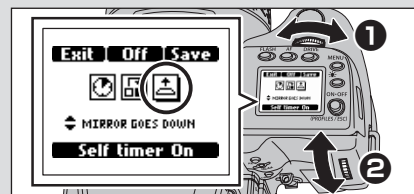
＊カスタム設定の**18.Interval & Self timer**（→74ページ）で、撮影後もモードを保持するように設定できます。撮影後のモード保持を設定し、セルフタイマーモードを解除したいときは、**ON・OFF**（**PROFILE/ESC**）ボタンを1回押してください。

ミラーアップタイミング

左の**2.**で を選択すると、ミラーアップのタイミングを設定できます。

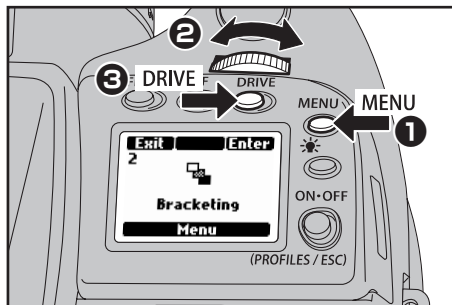
●**DELAY/MIRROR UP**：セルフタイマー作動後、ミラーアップ→撮影
＊通常のセルフタイマー撮影時に使用します。

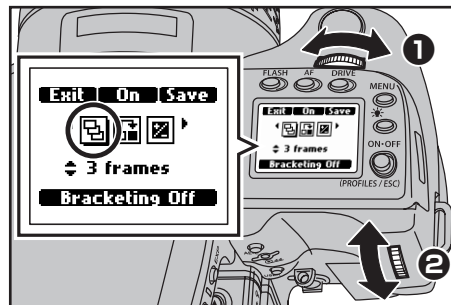
●**MIRROR UP/DELAY**：ミラーアップしてからセルフタイマーが作動→撮影
＊スローシャッター時のカメラブレを防ぐことができます。

ミラー状態の維持

左の**2.**で を選択すると、撮影後のミラーの位置を選択できます。

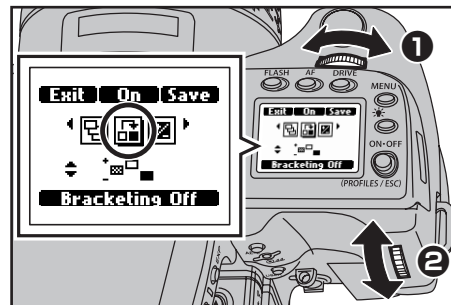
●**MIRROR GOES DOWN**：
セルフタイマー撮影後、ミラーは下がり、ファインダーで見える状態となります。

●**MIRROR REMAINS UP**：
セルフタイマー撮影後もミラーは上がったままで、ファインダーは暗くなった状態を維持します。

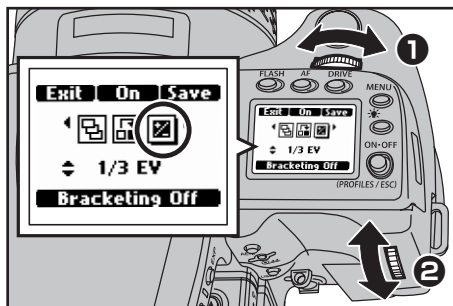
AEB撮影

1. Bracketingを選択

❶ **MENU**ボタンを押します。
❷ フロントダイヤルを回し、“**Bracketing**”を表示させます。
❸ **DRIVE**（**Enter**）ボタンを押し、詳細設定に入ります。

2. 撮影コマ数を選択

❶ 囹を選択します。
❷ リアダイヤルを回し、撮影コマ数を選択します。
☞2コマ、3コマ、5コマから選択できます。

3. 撮影順を選択

❶ 囹を選択します。
❷ リアダイヤルを回し、撮影順を選択します。
☞AEB撮影での撮影枚数の露光順は右表のとおりです。

＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→74ページ）。

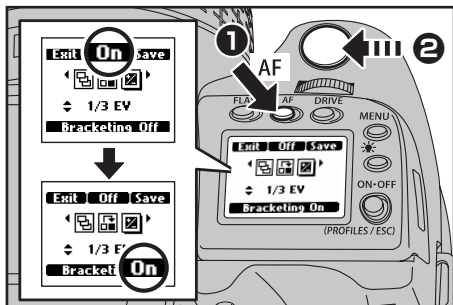
4. 補正量を選択

❶ を選択します。
❷リアダイヤルを回し、補正量を選択します。
☞1/3、1/2、1ステップから選択できます。

●AEBモードでの撮影コマ数と撮影順の例

＊1/3 (0.3) EVを選択したとき

モード表示	撮影順	2 frames (2コマ)	3 frames (3コマ)	5 frames (5コマ)
	1コマ目	NORMAL (適正露出)	NORMAL (適正露出)	NORMAL (適正露出)
	2コマ目	＋1/3EV (オーバー)	＋1/3EV (オーバー)	＋1/3EV (オーバー)
	3コマ目	－	－1/3EV (アンダー)	－1/3EV (アンダー)
	4コマ目	－	－	＋2/3EV (オーバー)
	5コマ目	－	－	－2/3EV (アンダー)
	1コマ目	NORMAL (適正露出)	NORMAL (適正露出)	NORMAL (適正露出)
	2コマ目	－1/3EV (アンダー)	－1/3EV (アンダー)	－1/3EV (アンダー)
	3コマ目	－	＋1/3EV (オーバー)	＋1/3EV (オーバー)
	4コマ目	－	－	－2/3EV (アンダー)
	5コマ目	－	－	＋2/3EV (オーバー)
	1コマ目	＋1/3EV (オーバー)	＋1/3EV (オーバー)	＋2/3EV (オーバー)
	2コマ目	NORMAL (適正露出)	NORMAL (適正露出)	＋1/3EV (オーバー)
	3コマ目	－	－1/3EV (アンダー)	NORMAL (適正露出)
	4コマ目	－	－	－1/3EV (アンダー)
	5コマ目	－	－	－2/3EV (アンダー)
	1コマ目	－1/3EV (アンダー)	－1/3EV (アンダー)	－2/3EV (アンダー)
	2コマ目	NORMAL (適正露出)	NORMAL (適正露出)	－1/3EV (アンダー)
	3コマ目	－	＋1/3EV (オーバー)	NORMAL (適正露出)
	4コマ目	－	－	＋1/3EV (オーバー)
	5コマ目	－	－	＋2/3EV (オーバー)

＊露出補正とAEBの両方を設定すると、露出補正した露出に対してAEB撮影を行います。
＊リアダイヤルで露出補正を行った場合でも (→37ページ)、シャッターが切れた後も露出補正モード、AEB撮影モードは解除されません。

5. 設定を登録

❶**AF**（**On**）ボタンを押して、モードをONにします。

☞グリップLCDに“**Bracketing On**（AEB撮影をセット）”が表示されます。

❷シャッターボタンを半押しすると、グリップLCDとファインダーLCDにAEB撮影の設定内容が表示されます。

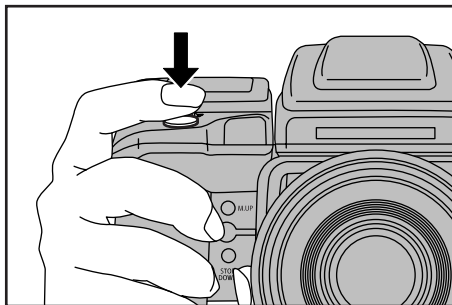
＊**DRIVE**（**Save**）ボタンを押しても登録できます。この場合、続けて他の設定ができます。

＊登録をキャンセルする場合は、**FLASH**（**Exit**）ボタンを押してください。

<設定後の表示>

P +0.0 f5.6 125 CENT AEB:3

Frames:3
f5.6 125
Adj: 0
[P][●]

6. 撮影

構図を決めて、シャッターボタンを押します。

フィルム給送モードが□**S/Single**： 1コマ給送モードのとき

シャッターを押すごとに露出が変わり、シャッターが切れるごとにフィルムを次のコマに送ります。

☞撮影コマ数表示が1コマごとに減っていきます。設定した撮影コマ数を撮影し終わると、再び次のAEB撮影に入ります。

フィルム給送モードが**C/Continuous**： 連続給送モードのとき

シャッターを押し続けると、設定した撮影コマ数分連続撮影し、フィルムを送ります。途中でシャッターボタンを離した場合、もう一度シャッターボタンを押すと続きから撮影され、設定した撮影コマ数の撮影が終わると、フィルムの給送が止まります。

＊1コマ目を撮影するときにAEロックが掛かり、ファインダーLCDとグリップLCDに“**L**”が表示されます（撮影途中で解除できません）。LCDの絞り値、シャッタースピード、露出スケール表示には、撮影するコマの露出が表示されます。

＊露出モードが**Pv**、**P**、**A**、**M**モード時はシャッタースピードを変えてAEB撮影します。**S**モード時は絞り値を変えてAEB撮影します。

フィルム残数が設定した撮影コマ数より少なくてもAEB撮影が行われます。フィルム残数を確認してからご使用ください。

●AEB撮影モードの解除

AEB撮影モードは撮影が終わった後も解除されません。**ON・OFF**（**PROFILE/ESC**）ボタンを1回押すと、AEBモードは解除されます。

＊1秒以上押すとメイン電源がOFFしますので、ご注意ください。

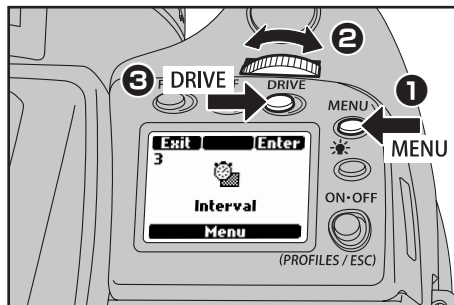
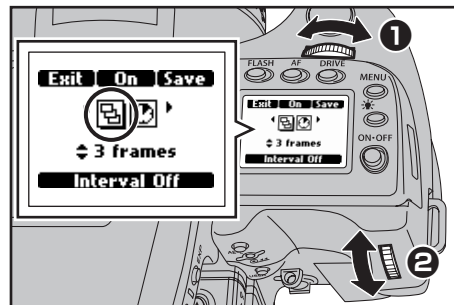
AEBモードは次の方法でも解除できます。

❶**MENU**ボタン→フロントダイヤルで“**Bracketing**”を選択、**DRIVE**ボタンを押して、AEB撮影モード設定画面に入る。

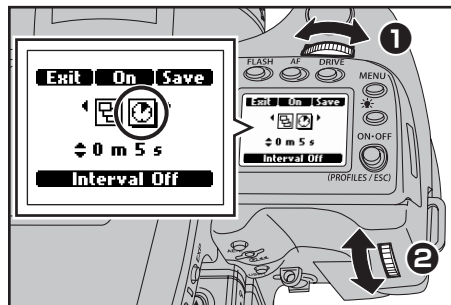
❷**AF**（**Off**）ボタンを押し、“**Bracketing Off**”にする。

❸シャッターボタンを半押しするか、**DRIVE**（**Save**）ボタンを押して、登録する。

インターバルタイマー撮影

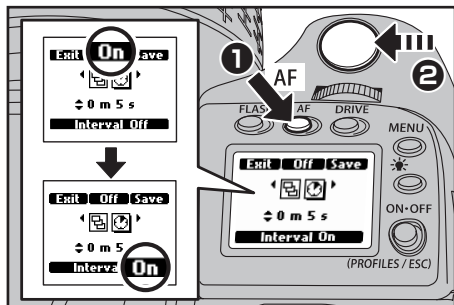
1. Intervalを選択

❶**MENU**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルを回し、“**Interval**”を表示させせます。
❸**DRIVE**（**Enter**）ボタンを押し、詳細設定に入ります。

2. 撮影コマ数を選択

❶ を選択します。
❷リアダイヤルを回し、撮影コマ数を選択します。
☞2コマ〜32コマから選択できます。

3. 撮影間隔を選択

❶ を選択します。
❷リアダイヤルを回し、撮影間隔を選択します。
☞1秒〜24時間の間で選択できます。

MENU編

＊カスタム設定の**3.User button function**で**USER**ボタンに登録できます（→74ページ）。

4. インターバルタイマーの設定を登録

❶**AF**（**On**）ボタンを押して、モードをONにします。

☞グリップLCDに“**Interval On**（インターバルタイマーをセット）”が表示されます。

❷シャッターボタンを半押しすると、グリップLCDに設定内容が表示されます。

＊**DRIVE**（**Save**）ボタンを押しても登録できます。この場合、続けて他の設定ができます。

＊登録をキャンセルする場合は、**FLASH**（**Exit**）ボタンを押してください。

5. 撮影

構図を決めて、シャッターボタンを押します。

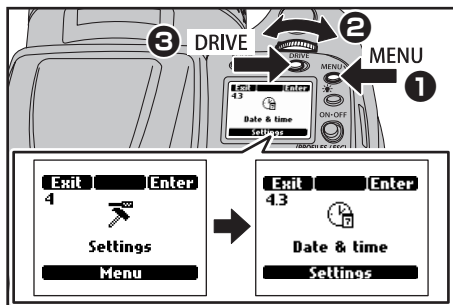
☞撮影ごとにShot：残りの撮影コマ数が減り、撮影間隔がカウントダウンします。

＊インターバルタイマーモードは、撮影が終わった後、解除されます。もう一度インターバルタイマーモード撮影するときは、インターバルタイマーモードの設定をONにしてください

＊カスタム設定の**18.Interval & Self timer**（→74ページ）で、撮影後もモードを保持するように設定できます。撮影後のモード保持を設定し、インターバルタイマーモードを解除したいときは、**ON · OFF**（**PROFILE/ESC**）ボタンを1回押してください。

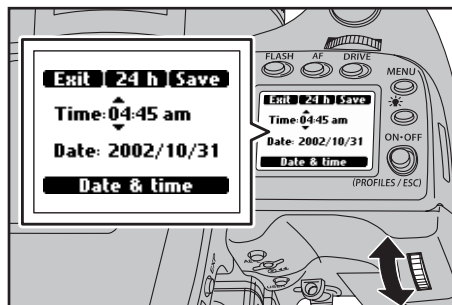
<設定後の表示>

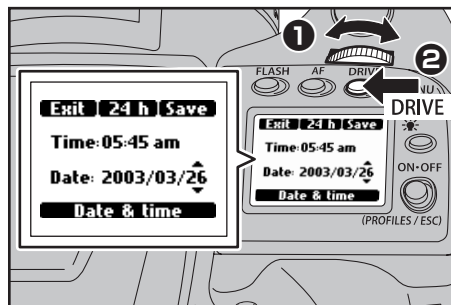
日付・時間の設定

1. Date & timeを選択

❶**MENU**ボタンを押します。

❷フロントダイヤルと**DRIVE**（**Enter**）ボタンを操作して、**Settings→Date&time**を選択します。

❸**DRIVE**（**Enter**）ボタンを押して、詳細設定に入ります。

2. 数値の修正

リアダイヤルを回し、“04”のある項目の数値を修正します。

3. 修正項目の変更

❶フロントダイヤルを回し、修正したい項目に“ ”を移動します。

❷修正が終わったら、**DRIVE**（**Save**）ボタンを押して登録します。

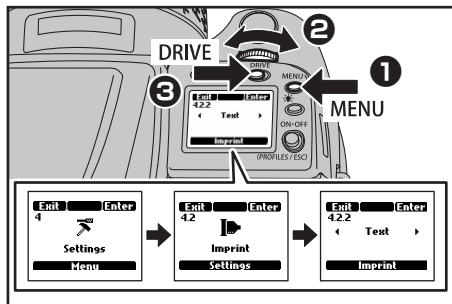
MENU編

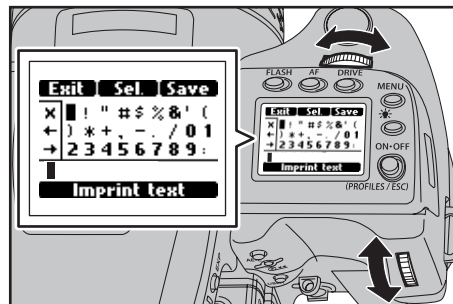
＊**AF**ボタンを押すと、**24h**：24時間表示、**12h**：12時間表示を切り替えられます。

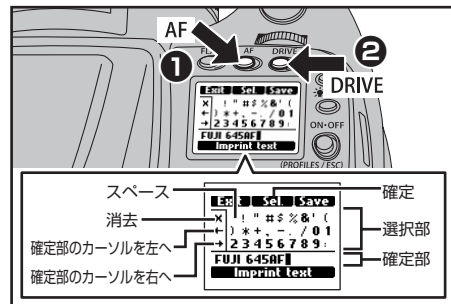
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。

＊登録をキャンセルする場合は、**FLASH**（**Exit**）ボタンを押してください。

データの写し込み～テキスト入力～

1. Imprintを選択

❶**MENU**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルと**DRIVE**（**Enter**）ボタンを操作して、
Settings→Imprint→Textを選択します。
❸**DRIVE**（**Enter**）ボタンを押して、詳細設定に入ります。
☞"**Text**" が表示されます。

2. テキスト入力画面にする

テキスト入力画面が表示されます。
フロントダイヤル、またはリアダイヤルを回して文字を選択します。

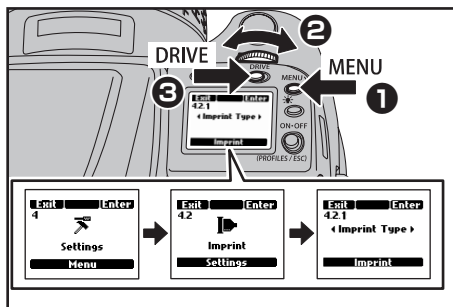
3. テキストを入力し、登録

❶**AF**（**Sel.**）ボタンを押して確定し、次の文字の選択に移ります。
❷すべての入力が終わったら、**DRIVE**（**Save**）ボタンを押して、登録します。
☞最大37文字まで入力可能です。

●確定した文字を変更したい場合は、
❶"←" または "→" を選択し、**AF**（**Sel.**）ボタンを押して、変更したい文字まで確定部のカーソルを移動
❷新しく入力したい文字を選択し、**AF**（**Sel.**）ボタンを押して確定
＊ "×" を選択し、**AF**（**Sel.**）ボタンを押すと、文字を消去できます。

＊シャッターボタン半押しでも登録できます。
＊登録をキャンセルする場合は、**FLASH**（**Exit**）ボタンを押してください。

データの写し込み

フィルムの画面外に撮影データなどを写し込むことができます。

写し込み内容の選択

❶ **MENU**ボタンを押します。

❷ フロントダイヤルと**DRIVE**（**Enter**）ボタンを操作して、

Settings→Imprint→Imprint Typeを選択します。

❸ **DRIVE**（**Enter**）ボタンを押して、詳細設定に入ります。

☞フロントダイヤルを回して、データ写し込み内容を選択してください。

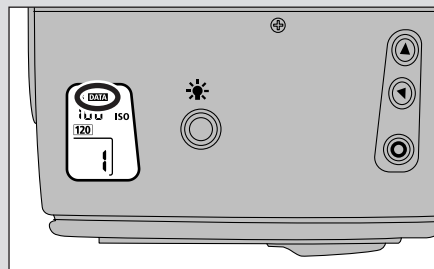
＊シャッターボタン半押しでも登録できます。
＊登録をキャンセルする場合は、**FLASH**（**Exit**）ボタンを押してください。

●Imprint Type：データ写し込み内容一覧

＊印字できる文字数はトータル37文字までです。写し込む文字数が37文字を超える場合、データの一部が印字されないことがあります。

●フロントダイヤルで選択	内容
Imp.type 1 ENHANCED EXPOSURE INFORMATION	絞り値、シャッタースピード、測光モード、露出モード、露出補正値、フラッシュ発光の有無※1、フラッシュ調光補正値※1、フォーカスモード、フレームNo、焦点距離
Imp.type 2 BASIC EXPOSURE INFORMATION	絞り値、シャッタースピード、露出補正値
Date & time	日付、時間
Text & date	テキスト（32文字写し込み可）、日付
Text & info	テキスト、情報（絞り値、シャッタースピード、露出補正値）
Text	テキスト（37文字写し込み可）

※1：フラッシュ発光の有無、およびフラッシュ調光補正値の写し込みは、内蔵フラッシュまたはSCA3902フラッシュアダプター使用時のみ対応します。

データの写し込みのON／OFFはフィルムマガジンで設定

26ページの「フィルムマガジンの機能設定」でデータ写し込みをする／しないを設定します。

●データを写し込みたいとき：
機能設定時に“DATA”を表示し、登録します。

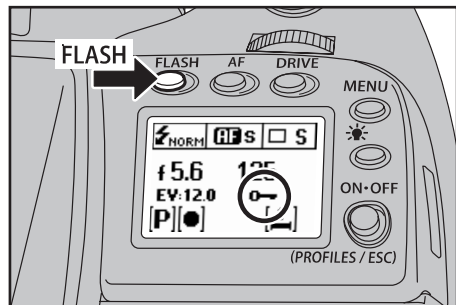
●データを写し込みたくないとき：
“DATA”が消えた状態で登録します。

機能ロック

ボタンやダイヤルを不用意に触っても機能しないようにロックが掛けられます。

FLASH（ ）ボタンを約1秒間押すと、機能ロックが掛かります。

☞グリップLCDに“ ”が表示されます。

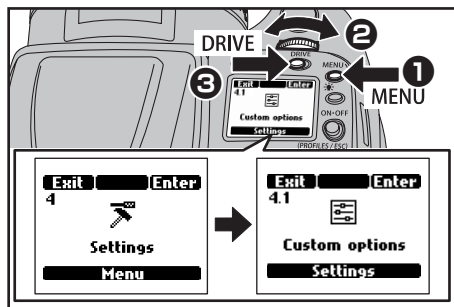
☞AEファインダーのボタン、グリップのボタン、ダイヤルを動かしても機能しません。

機能ロック時に**FLASH**（ ）ボタンを約1秒間押すと、機能ロックが解除されます。

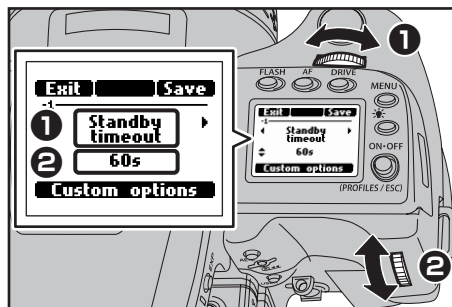
☞グリップLCDの“ ”表示が消えます。

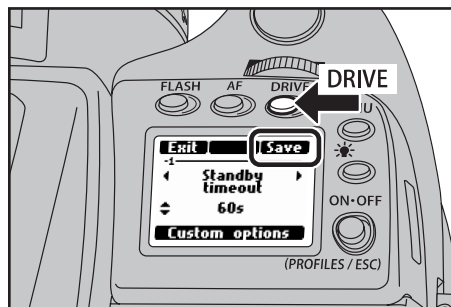
＊ロックする内容は、カスタム設定の**14.Control lock**（→73ページ）で変更できます。

カスタム設定

自分の使いやすいように設定を変更できます。

1. Custom optionsを選択

❶ **MENU**ボタンを押します。
❷ フロントダイヤルと**DRIVE**（**Enter**）ボタンを操作して、
Settings→Custom optionsを選択します。
❸ **DRIVE**（**Enter**）ボタンを押して、詳細設定に入ります。

2. 設定を変更

❶ フロントダイヤルを回して、設定を変更したい設定項目を表示します。
❷ リアダイヤルを回して、設定を変更します。

3. 設定を登録

DRIVE（**Save**）ボタンを押して、登録します。

設定登録時の操作ボタンについて

●**FLASH**（**Exit**）ボタン：
表示内容を登録せず、前画面に戻る。
●**DRIVE**（**Save**）ボタン：
表示内容を登録して、前画面に戻る。
●シャッターボタン半押し：
表示内容を登録して、撮影モード画面に戻る。
●**ON・OFF**（**PROFILE/ESC**）ボタン：
表示内容を登録せず、撮影モード画面に戻る。

カスタム設定

●MENUモード一覧

＊太字は工場出荷時の設定です。

❶フロントダイヤルで選択		❷リアダイヤルで選択	内容
1 **Standby timeout**	節電モードまでの時間	None	無操作が続いても電源は切れません。
		5, 10, **15**, 30, 60s	設定した時間、無操作だと、自動的に節電モードになり、グリップ表示部に“GX”が表示されます。
2 **EV increment**	EV変更量	1, **1/2**, 1/3 Step	絞り値、シャッタースピード変更量を設定します。
3 **User button function**	USERボタンの設定	Bracketing Self timer Multi exposure Interval timer Flash measure Stop down Standby **None** Dig. foc. check Delete last img Cycle LM mode Gray bal. exp. Histogram T Mode B Mode Mirror up AF drive	よく使う機能を**USER**ボタンに登録し、**USER**ボタンを押すと、設定した機能が瞬時に呼び出せます。 ここでは、**USER**ボタンを押したときに呼び出される項目を1つ選択します。 ＊詳細は**USER**ボタン内容一覧(→74ページ)をご参照ください。
4 **Control wheel direction**	ダイヤルの回転方向	**Clockwise**	フロントダイヤル、リアダイヤルの回転方向：時計回り
		C.Clockwise	フロントダイヤル、リアダイヤルの回転方向：反時計回り
5 **Flash ready exposure lock**	フラッシュ充電中のシャッターロック	**Yes**	フラッシュ充電中はシャッターが切れません。
		No	フラッシュ充電中でもシャッターは切れます。
6 **Film exposure lock**	フィルムが装てんされていないときのシャッターロック	Yes, **No**	Yes：フィルムが装てんされていない場合、フィルムカセットが取り付けられていないときにシャッターロックが掛かります。
7 **Lens exposure lock**	レンズが取り付けられていないときのシャッターロック	Yes, **No**	Yes：レンズが取り付けられていないときにシャッターロックが掛かります。
8 **Out of range exposure lock**	露出制御範囲外の露出のロック	Yes, **No**	Yes：シャッタースピードや絞り値が露出制御範囲外(“**---**”表示)のとき、シャッターロックが掛かります。
9 **True exposure**	実効露出制御	**On**, Off	On：レンズシャッターの実効露出を制御します。

＊太字は工場出荷時の設定です。

❶フロントダイヤルで選択		❷リアダイヤルで選択	内容
10 **Spot mode**	スポットモードの設定	**Normal**	スポット測光エリアで測光します。
		Zone	スポットモード選択時、AEロックが掛かった状態になります。測光は続けますが、絞り値、シャッタースピードは変わりません。ファインダー内の"**Z5**"などの数値が被写体の状況により変わります。
11 **Focus aid in MF**	MF：マニュアルフォーカス時のフォーカスエイド	**Half press**	MF時、シャッターボタン半押しでファインダーLCD内の合焦マークが点灯し、フォーカスエイドとして使用できます。
		Always	MF時、シャッターボタンを半押ししなくてもAFフレーム内でピントが合ったときには合焦マークが点灯し、フォーカスエイドとして使用できます。
		Off	MF時、ファインダーLCDの合焦マークは点灯しません。
12 **AF assistant light**	AF補助光の発光方法	Camera	カメラボディのAF補助光ランプが発光します。
		Ext. flash	外付けフラッシュのAF補助光が発光します（SCA3002対応フラッシュ）。
		Off	AF補助光は発光しません。
13 **Rear wheel quick adjust**	リアダイヤルでの露出補正	**Yes**, No	Yes：**Pv**、**P**、**S**、**A**モード時、リアダイアルで露出補正できます。
14 **Control lock**	機能ロックの内容 ＊機能ロックは**FLASH**ボタンを約1秒間押し続けると掛かります。	**All controls**	AEファインダーの各種操作ボタン、グリップの各種操作ボタン、フロントダイヤル、リアダイヤルをロックします。
		Wheels	フロントダイヤル、リアダイヤルをロックします。
		Off	機能ロックは掛かりません。
15 **Film wind-on**	フィルムの1コマ目セット方法	**Direct**	フィルムカセットをフィルムマガジンに取り付けると、自動的にフィルムが1コマ目にセットされます。
		Half press	フィルムカセットをフィルムマガジンに取り付け、シャッターボタンを半押しすると、フィルムが1コマ目にセットされます。
16 **Beeper**	操作音	**On**	各ボタンを押すたびに操作音が鳴ります。また、セルフタイマー作動時、機能ロック時に音が鳴ります。
		Off	操作音は鳴りません。

カスタム設定

＊太字は工場出荷時の設定です。

❶フロントダイヤルで選択		❷リアダイヤルで選択	内容
17 **Show histogram**	ヒストグラムの表示	**Yes**, No	ヒストグラムを表示／非表示を設定します（デジタルバック対応機能）。
18 **Interval & Self timer**	インターバルタイマー、セルフタイマーモード時の撮影後にモードを解除／保持	**Exit**	撮影が終わると、モードは解除されます。
		Stay	撮影後もモードは保持されます。
19 **AE-lock/ Quick adjust**	撮影後のAEロックとリアダイヤルでの露出補正解除／保持	**Exp reset**	シャッターを切ると、ロックした露出、露出補正が解除されます。
		Saved	シャッターを切った後もロックした露出、露出補正が保持されます。
20 **Show EV**	EV値表示	**Yes**, No	Yes：グリップLCDにEV値を表示します。
21 **Show ISO**	フィルム感度表示	**Yes**, No	Yes：グリップLCDにフィルム感度を表示します。

●USERボタン内容一覧

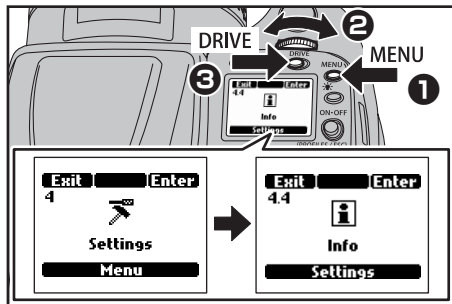
＊**USER**ボタンのショートカット：**MENU**ボタンを押した後に**USER**ボタンを押すと、**USER**ボタン設定画面になります。

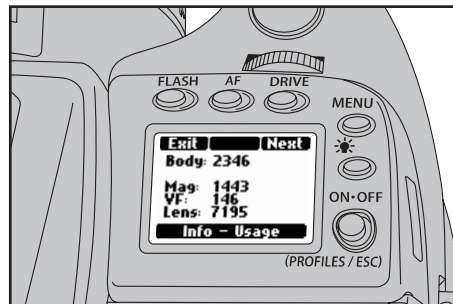
設定できる項目 USERボタンにセット	内容
Bracketing	AEB撮影モードを設定
Self timer	セルフタイマーモードを設定
Multi exposure	多重露光モードを設定
Interval timer	インターバルタイマーモードを設定
Flash measure	フラッシュメーター機能を設定
Stop down	絞った状態を維持して絞り込み（被写界深度）を確認できます。 ＊絞った状態ではシャッターが切れません。もう一度**USER**ボタンを押して、絞り込みを解除してください。

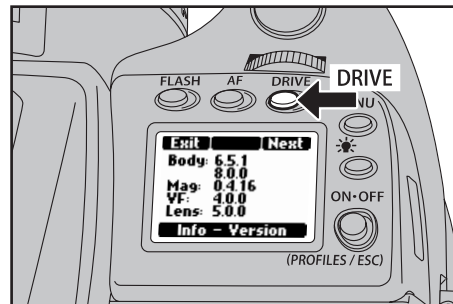
設定できる項目 USERボタンにセット	内容
Standby	節電モードを設定
None	設定なし ＊USERボタンを押しても何も作動しません。
Dig. foc. check	デジタルバックでのフォーカス確認（デジタルバック対応機能）
Delete last img	最後に撮影したコマの消去（デジタルバック対応機能）
Cycle LM mode	USERボタンを押すたびに測光モードが変更できます。
Gray bal exp.	グレーバランス露光の設定 ＊この機能をサポートするデジタルバック使用時に作動します。
Histogram	ヒストグラムを表示します。 ＊この機能をサポートするデジタルバック使用時に作動します。
T Mode	T（タイム）モードをセット ＊シャッターボタンを押すとシャッターが開き、もう一度シャッターボタンを押すとシャッターが閉じ、フィルムを給送します。
B Mode	バルブモードをセット ＊シャッターボタンを押している間、シャッターが開きます。
Mirror up	ミラーアップをセットします。
AF Drive	AF モードでも MF モードでも、USERボタンを押すとAFが働きます。

カメラ情報

＊画面は一例です。実際とは異なる場合があります。

1. Infoを呼び出す

❶**MENU**ボタンを押します。
❷フロントダイヤルと**DRIVE**（**Enter**）ボタンを操作して、
Settings→Infoを選択します。
❸**DRIVE**（**Enter**）ボタンを押して、**Info**メニューに入ります。

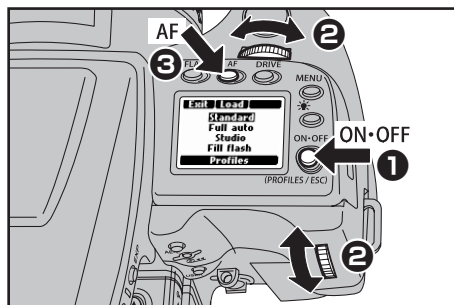
2. Info-Usage：トータルショット数

ボディ、フィルムマガジン、ファインダー、レンズのトータルショット数を表示します。

3. Info-Version：バージョン情報

もう一度**DRIVE**（**Next**）ボタンを押すと、ボディ、フィルムマガジン、ファインダーのバージョン情報を表示します。

＊出荷検査のため、新品でもトータルショット数が200ショット程度になっている場合がありますので、あらかじめご了承ください。

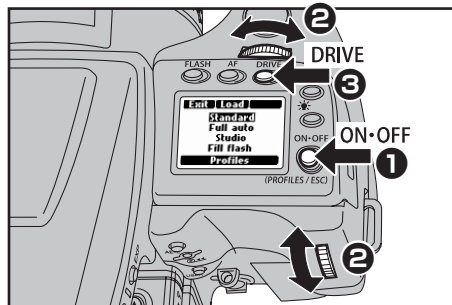
プロファイルの呼び出しと登録

PROFILESボタンを押して登録されたプロファイルを呼び出すと、自動的に使いたい設定に切り替えられます。
工場出荷時、"**Standard**""**Full auto**""**Studio**""**Fill flash**"のプロファイルが登録されています。

プロファイルの呼び出し

❶電源が入っているときに**ON・OFF**（**PROFILES**）ボタンを押します。

☞グリップLCDに"**Profiles**"が表示されます。

❷フロントダイヤル、またはリアダイヤルを回し、プロファイルを選択します。

❸**AF**（**Load**）ボタンを押して、プロファイルを呼び出します。

プロファイルの登録

よく使う撮影モード、カスタム設定などをプロファイルに登録できます。
プロファイルの登録を始める前に、撮影モード、カスタム設定を登録したい状態にセットしてください。

❶プロファイルに登録したい設定になっているかを確認し、**ON・OFF**（**PROFILES**）ボタンを押します。

☞グリップLCDに"**Profiles**"が表示されます。

❷フロントダイヤル、またはリアダイヤルを回し、登録する場所を選択します。

❸**DRIVE**（**Save**）ボタンを押して、登録します。

プロファイルの登録後、続けてプロファイル名の変更に入ります。

「データの写し込み～テキスト入力～」（→68ページ）と同様に、プロファイル名を登録してください。

●工場出荷時に登録されているプロファイル

プロファイル名	露出モード	測光モード	フォーカスモード	フィルム給送モード
Standard	**A**：絞り優先AE	■**Average**：平均測光	**AF** **S**：シングルAF	□**S**：1コマ給送
Full auto	**P**：プログラムAE	●**Centre W**：中央部重点測光	**AF** **S**：シングルAF	□**S**：1コマ給送
Studio	**M**：マニュアル露出	•**Spot**：スポット測光	**MF**：マニュアルフォーカス	□**S**：1コマ給送
Fill flash	**A**：絞り優先AE	●**Centre W**：中央部重点測光	**AF** **S**：シングルAF	□**S**：1コマ給送

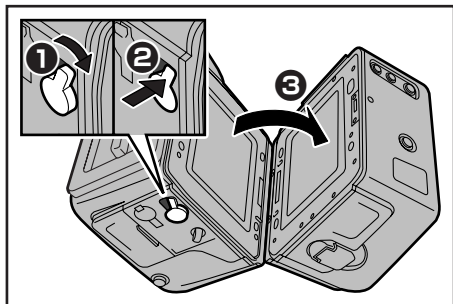
＊"**Standard**"を選択すると、工場出荷時の設定に戻ります。

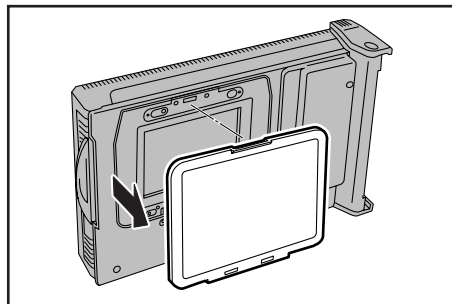
＊フラッシュ調光補正モードになります。

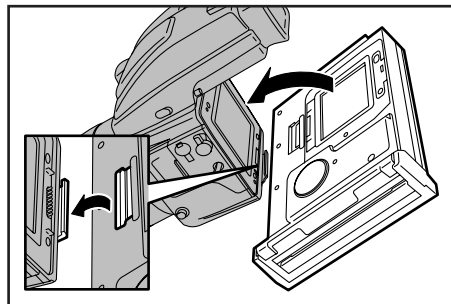
＊"**Standard**"には登録できません。

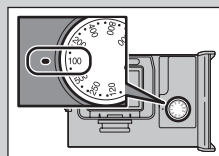
＊登録すると、前に登録されていた内容は消去されますのでご注意ください。

インスタントフィルムマガジンの使い方

1. フィルムマガジンを取り外す（→17ページ）

❶フィルムマガジンロック解除レバーを時計回りに回し、
❷フィルムマガジンロック解除レバーを押し、
❸フィルムマガジンをボディから外します。

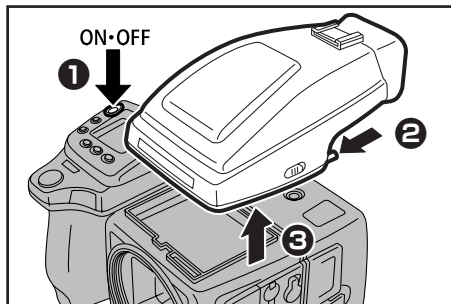
2. インスタントフィルムマガジンのカバーを外す

インスタントフィルムマガジンのカバーを外します。

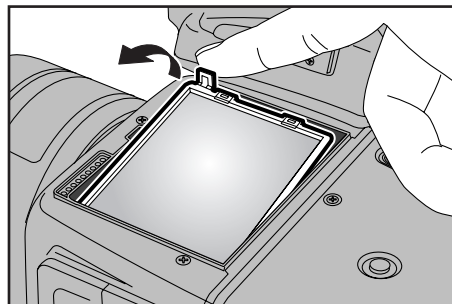
3. インスタントフィルムマガジンをボディに取り付ける

フィルムマガジンの取り付けと同じ要領で（→16ページ）、インスタントフィルムマガジンをボディに取り付けます。

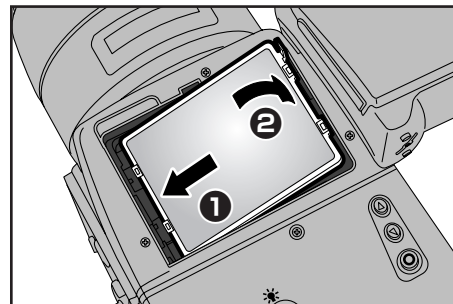
＊インスタントフィルムマガジン使用時にはフラッシュはTTL調光しません。
＊インスタントフィルムマガジン使用時は、カメラにクイックカップリング（別売）を取り付けてください。
＊インスタントフィルムマガジンをボディから取り外すとき、引きぶたが奥までしっかり入っていることを確認してください。奥までしっかり入っていないと、光カブリの原因となります。

インスタントフィルムをご使用の際は、インスタントフィルムマガジンのフィルム感度設定ダイヤルを回し、フィルム感度を設定してください。

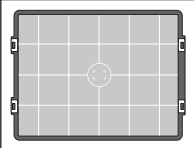
フォーカシングスクリーンの交換

フォーカシングスクリーンの取り外し

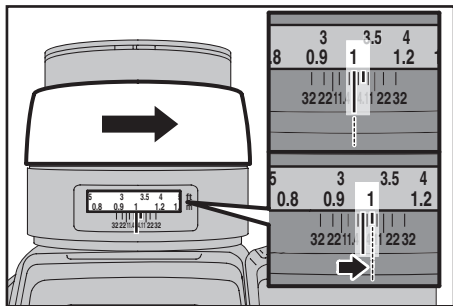
1. 電源を切り、ファインダーを外す

❶**ON・OFF**ボタンを押して電源を切ります。
❷ファインダーロック解除ボタンを押して、
❸ファインダーを外します。

2. フォーカシングスクリーンを取り出す

フォーカシングスクリーン右端の突起部を押しながら、フォーカシングスクリーンを持ち上げ、取り出します。

フォーカシングスクリーンの取り付け

フォーカシングスクリーンを左側のバネに押し付けながら、下側に止まるまで押し込みます。

交換フォーカシングスクリーン(別売)について

水平、垂直などの構図が決めやすいグリッドタイプのフォーカシングスクリーンも発売されております。

●フォーカシングスクリーン交換時には、カメラのミラーやスクリーンに傷や指紋を付けないようにご注意ください。
●スクリーンにごみや汚れが付いた場合は、ブロアーブラシで吹き飛ばし、シリコンクロスなどのやわらかい布で軽くふいてください。

赤外フィルムの使用

赤外フィルムでの撮影は、可視光と赤外光でピント位置が異なるため、ピントのズレを補正する必要があります。ピントの合った距離目盛りが赤マーク（赤外補正マーク）にくるようにずらしてください。

＊赤外撮影は、赤外フィルムとフィルターを使用します。
＊詳しくは赤外フィルムの使用説明書に従ってください。

取扱上のお願い

カメラは精密機械です。取り扱いには次のようなことに十分ご注意ください。

- 雨や水滴が付いたときは、乾いた布でよくふいてください。また海辺での撮影の後は、塩分が残らないようによくふいてください。
- 一般に電気系のトラブルは、接点部の汚れやごみが原因になる場合が多いものです。もし電気系の不具合と思われる現象が起こったときは、電池の接点や各部の接点に電池の液漏れや手油などによる汚れ、塩分や特殊ガスによる腐食、あるいはごみなどが付いていないかチェックしてみてください。汚れやごみを取り除いても不具合が直らない場合は、富士フイルムサービスステーションで点検を受けてください。
  接点不良は、ごみの付着が原因となっている場合が多いと思われます。ブロアーブラシでごみを取り除き、ブロアーで吹き飛ばしてください。
- ミラーやフォーカシングスクリーンの裏面は傷が付きやすいため、この部分は特に手を触れないでください。
- 水没品は修理不可能なことが多々あります。富士フイルムサービスステーションにご相談ください。
- 高性能を保つため、1年～2年ごとに定期点検をおすすめいたします。長期間使用しなかったときや大切な撮影前には、点検や試し撮りをしてください。

■カメラの清掃

- 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
- 撮影前後にカメラの清掃を行ってください。ブロアーブラシでほこりを払い、カメラの外側はシリコンクロスなどの柔らかい布でふいてください。
- フィルム室に汚れやほこりがあると、フィルムを傷つけることがあります。特にカメラ内部の清掃は常に心掛けてください。

■レンズの清掃

- レンズのすり傷は、想像以上にシャープネスの劣化につながります。何となくコントラストが低下し、しまりのない写真になったら、すり傷が原因になっていることが考えられます。
  そこで、レンズ清掃は以下のように注意深く行ってください。

① レンズ表面のごみ、ほこりをブロアーブラシで吹き飛ばしてください。
② クリーニングペーパーに市販のレンズクリーニング液を浸して、軽くレンズの中心から周辺に向かって回しながらふき取ります。
③ レンズの汚れがとれたら、乾いたクリーニングペーパーでレンズクリーニング液のふきむらをレンズの中心から周辺に向かって、回しながら軽くふき取ります。

- レンズにごみ、ほこりなどが付いているときに、息を吹きかけてシリコンクロスなどでふくことは絶対避けてください。すり傷発生の原因になります。
- ファインダーについても、レンズ清掃と同じように清掃を行ってください。距離計窓の傷は、正しい距離測定に支障を来すことがあります。同様にファインダーの汚れ・傷はファインダーの見えに影響を与えることがあります。

■液晶表示について

- 約60℃の高温では、液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので故障ではありません。
- 静電気などによって液晶表示部が消えることがありますが、電源を入れ直せば正常に戻ります。

■電池について

- 低温下では、電池は性能が低下する性質を持っています。常温に戻れば性能は回復します。低温下での撮影には、新しい電池を使用し、予備の電池をポケットなどに入れて、温めながら交互に使うなどの方法をとってください。消耗した電池では低温時、カメラが作動しなくなることがあります。
- 電池容量の表示が“ ”になりましたら電池交換が必要となりますので、予備の電池と交換してください。

■使用温度範囲

- このカメラの使用温度範囲は－10°C～＋40°Cです。

■保　管

- 夏期は、高温の自動車の中や湿気のある場所に長時間放置しないでください。カメラ本体およびレンズには必ずレンズキャップをしてください。
- カメラを保管するときは、湿気、ほこり、熱の影響のないところに収納してください。
- ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。

■フィルムの出し入れ

- 必ず直射日光を避けて行ってください。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、裏面記載の弊社カメラ事業部 営業部かお近くの富士フイルムサービスステーションをご利用ください。お問い合わせ・修理に関しましては日本国内に限らせていただきます。

● 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

● 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損害、故障。
5. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

● 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後10年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書または保証カードを添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは12,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

主な仕様

項目	内容
型式	6×4.5cm判レンズシャッター式AF一眼レフカメラ
使用フィルム	120 1/2ロールフィルム　8枚撮り 120ロールフィルム　16枚撮り 220ロールフィルム　32枚撮り インスタントフィルム
画面サイズ	56mm×41.5mm
レンズマウント	GX645AFマウント
使用レンズ	スーパーEBCフジノン GX645AFレンズ
ファインダー	交換式AEファインダー　倍率：2.7倍（接眼倍率）、0.9倍（−0.1D、f=80mmレンズ使用時）　視野率97%（フォーカシングスクリーン上で100%）　視度調節：−0.4D〜+2.5D
ファインダースクリーン	交換式アキュートマットDタイプ　標準は全面マットスクリーン
ファインダー内表示	ドットマトリックス表示方式 絞り値　シャッタースピード　露出スケール　露出モード　測光モード　露出補正　AEロック　フィルムカウンター　合焦マーク　電池容量　フラッシュマーク　警告マーク　その他のカメラ機能表示
シャッター	電子制御式レンズシャッター　18時間〜1/800秒　B（バルブ）、T（タイム） フラッシュ全速同調
オートフォーカス	TTL位相差検知方式　作動範囲：EV1〜EV19（ISO100） AF／MF切り替え式（シングルオートフォーカス、コンティニュアスオートフォーカス、マニュアルフォーカス） レディマニュアルフォーカス
フィルム感度	ISO6〜6400　1/3ステップ刻み バーコードシステムによる自動切り替え　マニュアル設定
フィルムマガジン	フィルムマガジン交換式　バーコードシステムフィルム対応（ISO自動読み取りセット、120／220検知、フィルム種別検知） 120／220フィルム兼用（バーコードシステムフィルム使用時は自動切り替え、フィルムマガジン機能設定にて切り替え可能）
フィルムマガジンLCD表示	フィルムカウンター　フィルム感度　フィルム種別　バーコードマーク　データ写し込み　電池容量
フィルム装てん	1コマ目自動セット（カスタム設定で変更可能）
フィルム給送	内蔵モーターによる自動巻き上げ（最高約2コマ／秒） 1コマ給送モード、連続給送モード
フィルムカウンター	自動　途中巻き上げ可能（フィルム途中巻き上げボタンによる） 順算／逆算表示切り替え可能
露出制御	プログラムAE、プログラムバリアブルAE、シャッター速度優先AE、絞り優先AE、マニュアル露出、 フラッシュメーター機能付き
測光方式	TTL測光 中央部重点測光、スポット測光、平均測光
測光連動範囲	中央重点測光・平均測光：EV1〜EV21（ISO100　F2.8）

主な仕様

	スポット測光：EV2〜EV21（ISO100　F2.8）
シンクロ	X接点（全速同調） ノーマルシンクロ／リアシンクロ　切り替え可能
内蔵フラッシュ	TTL調光自動制御　ガイドナンバー：12（ISO100） フラッシュON時強制発光　フラッシュ調光補正：±3EV
外付けフラッシュ	ホットシュー、シンクロソケットターミナル
露出補正	±5EV（1/3（0.3）EV刻みで切り替え可能）
AEB（オートエキスポージャーブラケティング）	1/3EV、1/2EV、1EV刻みに切り替え可能。設定コマ数：2、3、5コマから選択可能
セルフタイマー	電子制御式　2秒〜60秒　ミラーアップ機能あり
インターバルタイマー	1秒〜24時間の間で選択可能。設定コマ数：2コマ〜32コマから選択可能
多重露光	可能
ミラーアップ機能	あり
絞り込み確認機能	あり
レリーズソケット	電気式専用レリーズソケット
データ写し込み機能	画面外の撮影データ写し込み（最大37文字） ①絞り値、シャッタースピード、測光モード、露出モード、露出補正値、フラッシュ発光の有無、フラッシュ調光補正値、フォーカスモード、フレームNo.、焦点距離 ②絞り値、シャッタースピード、露出補正値 ③日付、時間 ④テキスト、日付 ⑤テキスト、情報（絞り値、シャッタースピード、露出補正値） ⑥テキスト ＊テキストはアルファベット、記号を写し込み可
その他	ホットシュー　フィルムインジケーターポケット　シンクロソケット　電気式リモートレリーズソケット　三脚ねじ穴（小径1/4、大径3/8）　クイックカップリングアダプター
電源	ボディ：リチウム電池　CR123A　3本（9V） フィルムマガジン：CR2032
寸法・質量（重量）	ボディ：145mm×114mm×88mm　715g（電池除く） AEファインダー：77.5mm×48mm×139.5mm　315g フィルムマガジン：95.5mm×83.5mm×57.5mm　440g（コイン電池、空スプール含む） スーパーEBCフジノンHC 80mm：φ83mm×63mm（フランジ面から）　全長69.5mm　470g 標準セット：145mm×130mm×200mm　1940g（電池、フィルム除く）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
＊アキュートマットは、ミノルタ株式会社の登録商標です。

FUJIFILM

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…

富士写真光機株式会社　カメラ事業部 営業部　〒331-9624 埼玉県さいたま市北区植竹町1丁目324番地　TEL（048）668-2236

● 光機製品のお問い合わせはこちらでも承ります

富士写真フイルム株式会社 札幌営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）218-5575
富士写真フイルム株式会社 仙台営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）216-6960
富士写真フイルム株式会社 東京販売部内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL（03）3406-2387
富士写真フイルム株式会社 名古屋営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL（052）203-5262
富士写真フイルム株式会社 大阪支社内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL（06）6205-6421
富士写真フイルム株式会社 広島営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）250-0755
富士写真フイルム株式会社 福岡営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-0255

●お買い上げ製品の修理の受付は…

札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
富士フォトサロン・東京	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
富士フォトサロン・大阪	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京、名古屋、大阪：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。
　ただし、受け渡し業務のみとなります。
●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL（03）3406-2981
富士フイルム ホームページ　http://www.fujifilm.co.jp/

Printed in Japan

FGS-305104-FG-02